



令和2年度（平成32年度）

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2020.4-2021.3

目次

I. 事業報告	1
1. 企画展	
「音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展	1
「高橋士郎 古事記展 神話芸術テクノロジー」	7
「クルト・セリグマンと岡本太郎」展	10
「第24回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展	17
2. 常設展	
「太陽の塔への道～太陽の塔は『生命の樹』だった」展	20
「うちの中の岡本太郎」展	23
「岡本太郎の旅」展	32
3. 共催・協力企画展	37
「岡本太郎展 太陽の塔への道」	
「生誕110年 岡本太郎ーパリから東京へ」展	
4. 収集・保存・貸出	38
収集作品及び資料（購入）	
寄贈作品・資料	
作品修復	
貸出作品及び資料	
5. 情報・刊行物	42
刊行物	
6. 教育・普及事業	43
イベント・ワークショップ	
団体利用実績	
学校プログラム	
教材開発と利用	
美術館教育研究会	

7. 指定管理者による自主事業.....	56
イベント・ワークショップ	
8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会.....	58
第1回	
第2回	
II. 資料.....	60
1. 入館者数統計.....	60
令和2年度 月別入館者数	
年度別入館者数	
2. 美術館事業 予算・決算概要.....	62
予算概要	
決算概要	
III. 組織名簿.....	66
1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿	
2. 川崎市岡本太郎美術館職員名簿	
IV. 川崎市岡本太郎美術館概要.....	67
1. 美術館の目的	
2. 美術館事業内容	
3. 美術館沿革	
4. 施設・設備概要	
V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則.....	71
1. 条例	
2. 条例施行規則	

I. 事業報告

1. 企画展

F・バシエ生誕100年、日本万国博覧会から50年

「音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展

Résonance du son et de l'objet La rencontre entre les Structures sonores Baschet et Taro Okamoto

会 期	2020年6月2日(火)～7月12日(日) ※会期は緊急事態宣言を受けて変更 ※変更前会期：2020年5月8日(金)～7月12日(日)
開催日数	36日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
後 援	在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、 公益財団法人日仏会館
企画協力	バシエ協会
協 力	大阪府、東京藝術大学 GEIDAI FACTORY LAB、 京都市立芸術大学 芸術資源研究センター、 和光大学、digiart, Inc.
助 成	公益財団法人花王芸術・科学財団
観 覧 料	一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	6,143名
1日平均	171名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	30点
担 当 者	大杉浩司、片岡香、佐藤明由美



チラシ



図録



展示風景

■開催趣旨■

岡本太郎は、芸術がすべての人と共有するものであるという理念を貫き、《太陽の塔》をはじめとする多くのパブリック作品を制作しました。彼と同じく、誰でも自由に演奏することのできる楽器でありオブジェでもある「音響彫刻」という新しいスタイルを生み出した芸術家がフランソワ・バシエとベルナール・バシエの兄弟です。フランスで過ごした岡本太郎とバシエ兄弟。フランスの風土と文化が彼らの芸術観を育んだのです。1970年の大阪万博には鉄鋼館ディレクターであった、作曲家・武満徹がフランソワ・バシエを招聘して鉄鋼館に展示されました。万国博覧会以後、鉄鋼館に保管されていた「音響彫刻」は、大阪府(当時・万博記念機構)、東京藝術大学、京都市立芸術大学が中心となり、当時と変わらぬ美しい造形美と音響を取り戻しました。

本展は、バシエの「音響彫刻」5点を一堂に集め岡本太郎の芸術空間で共演させるという試みです。会場では、音楽アーティストによる演奏会やワークショップなどのイベントを開催いたします。(緊急事態宣言及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部のイベントを除き中止または無観客での動画配信を行いました。)

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

東京新聞「お家で名画を」2020年5月10日
神奈川新聞「自宅で芸術たのしんで」2020年5月21日
NHK「あさイチ」TV生中継 2020年6月9日
産経新聞「芸術は皆で共有だ」2020年6月30日
読売新聞「50年経て奏でる彫刻」2020年7月8日

■関連事業■

※4月26日～6月27日に開催予定のイベント・コンサートは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

<関連イベント>

・レクチャー「バシエから受け継ぎ、未来へつなぐ」 *中止

F・バシエの愛弟子マルティ・ルイツがバシエの世界を語ります。

日 時 2020年4月26日(日) 14:00～16:00

演奏・講師 マルティ・ルイツ (サウンド・アーティスト、バシエ研究者)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・ワークショップ「バシエ音響彫刻の世界で遊ぼう」 *中止

音響体験を通してバシエの世界を楽しむワークショップ。

日 時 2020年4月29日(水祝) 14:00～16:00

演奏・講師 マルティ・ルイツ (サウンド・アーティスト、バシエ研究者)

対 象 どなたでも(未就学児は保護者同伴)

定 員 30名

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

申 込 電話受付(4月7日(火)10:00から受付開始)、先着順

・ワークショップ&トーク *中止

岡田加津子が語るフランスのバシエ工場の滞在記と、バシエの教育音具を使ったワークショップ。

日 時 2020年5月4日(月祝) ①トーク 13:30～14:30 ②ワークショップ 14:45～15:30

講 師 岡田加津子(作曲家)

対 象 どなたでも(未就学児は保護者同伴)

定 員 ①自由観覧 ②40名

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

申 込 ②電話受付(4月7日(火)10:00から受付開始)、先着順



・シンポジウム *中止

1970年の大阪万博、武満徹、F・バシエについて研究者の立場から語ります。

日 時 2020年6月21日(日) 13:00~14:30

登壇者 船山隆(音楽学者)、川崎弘二(電子音楽研究)、柿沼敏江(音楽学者)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



バシエ音響彫刻の楽器としての側面と音が脳に与える影響について語ります。

日 時 2020年6月27日(土) 13:00~15:00

登壇者 亀川徹(音響学)、仁科エミ(情報環境学)

司 会 永田砂知子

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

<関連コンサート>

・マルティ・ルイツ コンサート *中止

音楽家のマルティ・ルイツと打楽器奏者の永田砂知子の共演。

日 時 2020年5月3日(日) 15:00~16:00

演 奏 マルティ・ルイツ、永田砂知子(打楽器奏者)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・アンサンブル・ソノーラ コンサート *中止

バシエを愛してやまない京都の4人組アンサンブル・ソノーラによる演奏会。

日 時 2020年5月5日(火祝)、5月6日(水振休) 14:00~15:00

演 奏 アンサンブル・ソノーラ

岡田加津子(作曲家)、北村千絵(ボーカリスト)、

沢田穠治(作曲家・ベーシスト)、渡辺亮(パーカッショニスト)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・内橋和久 コンサート *中止

ベルリンと東京を拠点に活動する音楽家、内橋和久がバシエ音響彫刻に挑む。

日 時 2020年5月10日(日) 15:00~16:00

演 奏 内橋和久(音楽家)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・大倉正之助「五行彩調」 *中止

和楽器とバシエ音響彫刻との初めてのコラボレーション。

一部・大倉正之助ソロ演奏 二部・大倉正之助、永田砂知子の共演

日 時 2020年5月24日(日) 14:00~15:00

演 奏 大倉正之助(大鼓奏者)、永田砂知子(打楽器奏者)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・灰野敬二 コンサート *中止

演奏家として様々な楽器の可能性を引き出す灰野敬二がバシエ音響彫刻に挑む。

日 時 2020年6月7日(日) 15:00~16:00

演 奏 灰野敬二(音楽家)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・コンサート 武満徹「四季」 *中止

大阪万博・鉄鋼館でバシエ音響彫刻のために作曲、演奏された武満徹の「四季」を東京で半世紀ぶりに演奏。

日 時 2020年6月21日(日) 15:00~15:30

演 奏 山口恭範(打楽器奏者)、吉原すみれ(打楽器奏者)、
野尻小矢佳(打楽器奏者)、前田啓太(打楽器奏者)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)



・バシエ音響彫刻 《マリンバピンポン》演奏会

原倫太郎(現代美術家)の木琴卓球《マリンバピンポン》と安江佐和子演奏による音響彫刻の競演。

日 時 2020年7月4日(土) 14:00~15:00

演 奏 安江佐和子(パーカッションニスト)他、卓球選手

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

参加者 140名



・鈴木昭男 コンサート

何からでも音をつむぎ出してしまう鈴木昭男がバシエ音響彫刻を奏でます。

日 時 7月12日(日) 15:00~16:00

演 奏 鈴木昭男(サウンド・アーティスト)

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

参加者 323名



<無観客演奏（動画配信）イベント>

以下のイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客での演奏（動画配信）を行いました。

・アンサンブル・ソノーラ コンサート

バシエを愛してやまない京都の4人組アンサンブル・ソノーラによる演奏。

今回の無観客演奏では沢田穰治、渡辺亮の2名が音響彫刻を演奏しました。

演 奏 「アンサンブル・ソノーラ」 沢田穰治（作曲家・ベーシスト）、渡辺亮（パーカッショニスト）

・コンサート 武満徹「四季」

大阪万博・鉄鋼館でバシエ音響彫刻のために作曲、演奏された武満徹の「四季」を東京で半世紀ぶりに演奏しました。

演 奏 山口恭範（打楽器奏者）、吉原すみれ（打楽器奏者）、野尻小矢佳（打楽器奏者）、前田啓太（打楽器奏者）

<その他>

・会場音響 BACHET with meditone®

AI が奏でるバシエ音響彫刻の音色が会場内にサウンドオブジェとして流れます。

期 間 6月2日（火）～7月12日（日）

提 供 山村寿一（digiart, Inc.）

・会場 VR の公開

一般社団法人 VR 革新機構の協力により、展示室を高画質 360 度カメラで撮影し、会場 VR を作成しました。

本展会場の VR は美術館ホームページ内の「太郎 VR 美術館」として公開し、休館期間中に多くの方に本展を VR や 3D ビューでご覧いただきました。

協 力 一般社団法人 VR 革新機構

■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作/再制作年	材質・素材	所蔵 (記載の無いものは 岡本太郎美術館蔵)
1	渡辺フォーン	フランソワ・バシエ	1970/2015	ステンレススチールの横棒、 スチール、アルミニウム	大阪府、 京都市立芸術大学
2	川上フォーン	フランソワ・バシエ	1970/2013	スチール、ボール紙、ピアノ線、 アルミニウム	大阪府
3	桂フォーン	フランソワ・バシエ	1970/2015	鉄、スチール、ステンレス、 ジュラルミン、アルミニウム	大阪府、 京都市立芸術大学
4	高木フォーン	フランソワ・バシエ	1970/2013	ステンレススチール、アルミニウム、ガ ラス棒、アルミ合金のジュラルミン	大阪府
5	勝原フォーン	フランソワ・バシエ	1970/2017	ジュラルミン、鉄、ステンレス、 ピアノ線	大阪府、 東京芸術大学
6	具現	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	
7	アドレッサン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
8	挑む	岡本太郎	1980	紙、墨、絵具	
9	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
10	まひるの生物	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩	
11	予感	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩	

12	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
13	天に舞う	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
14	子供の時間	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
15	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
16	邂逅	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
17	手一赤	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
18	手一青	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
19	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
20	呼ぶA	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
21	呼ぶB	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
22	光る彫刻	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、ライト
23	踊り	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
24	飛行船《レインボ ー号》	岡本太郎	1973	繊維強化プラスチック
25	戦士	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
26	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
27	万博の鍵	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
28	マスク(5点)	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
29	樹霊 I	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
30	神話	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック

■出品資料リスト■

No.	タイトル	制作年	内容	所蔵
1	STRUCTURES SCULPTURES SONORES (音響彫刻の構造)	1982	映像 (約 30 分)	個人蔵
2	日本万国博覧会 鉄鋼館 SPACE THEATER プログラム			個人蔵
3	日本万国博覧会 鉄鋼館 SPACE THEATER パンフレット			バシエ協会
4	鉄鋼館の音響設備 (三精エンジニアリング)			バシエ協会
5	EXPO' 70 鉄鋼館資料「鉄鋼館」(日本鉄鋼連盟)			バシエ協会
6	フランスのバシエ協会カタログ			バシエ協会
7	「フランソワ・バシエと音響彫刻」 / ジョセフ・P・ラブ	1969	美術手帖 1969年9月号	バシエ協会
8	CHERCHEUR ET SCULPTURE DE SONS (研究者と音響彫刻) / ベルナール・バシエ	2007		バシエ協会
9	MEMOIRES SONORES (音の記憶) / フランソワ・バシエ	2007		バシエ協会
10	LES SCULPTURES SONORES (音響彫刻) / フランソワ・バシエ	1989		バシエ協会
11	KLANG OBJEKTE ドイツ活版/日本語版 / フランソワ・バシエ、アラン・ヴィルミノ	2015		バシエ協会
12	Le hamon / 永田砂知子、ピエール・マルボス		CD	個人蔵
13	PALETTE SONORE (パレット ソノール) / ベルナール・バシエ		CD	個人蔵
14	SPACE THEATER (スペース シアター) 復刻版		CD	個人蔵

企画展

高橋士郎 古事記展 神話芸術テクノロジー

SHIRO TAKAHASHI KOJIKI Mythology Art Technology

会 期	2020年7月23日(木祝)～10月11日(日)
開催日数	70日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
企画協力	株式会社パポット
助 成	一般財団法人地域創造
観 覧 料	一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	20,596名
1日平均	294名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	41点
担 当 者	大杉浩司、片岡香、佐藤明由美



図録



チラシ



展示風景

■開催趣旨■

芸術にコンピューターやテクノロジーを浸透させた立役者の一人である造形作家・高橋士郎が1980年代より発表し、世界各地で活動を展開し人気を博してきた「空気膜造形」シリーズ。本展は、高橋の長年にわたる空気膜造形研究の集大成として、古事記に記された神々の姿を21世紀の現代によりみがえらせるものです。

本展では、古事記に記された神々の姿を、高橋の空気膜造形により動きのある魅力あふれた立体造形としてよりみがえらせ、岡本太郎が出雲神話を題材として制作した作品と併せて紹介しました。私たちの身近なものとして捉えにくい古事記の世界を、子供から大人まで世代を問わず誰もが楽しんでいただきました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

読売新聞「膨らむ古事記の世界」2020年7月24日

東京新聞「神話の神々身近に」2020年8月9日

NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」2020年9月20日

NHK Eテレ「日曜美術館 アートで時代を乗り越えろ 太郎とあいみょん」2020年8月13日

■関連事業■

<イベント>

・上映会

古事記を題材にした作品をはじめ、神々をモチーフにした短編アニメーションプログラムを上映しました。

日 時 2020年9月20日(日) 14:00～15:00

場 所 ガイダンスホール

料 金 無料

参加人数 78名



・高橋士郎 古事記展 記念シンポジウム

テ ー マ 神話とアート—記憶と創造の未来に向けて
 日 時 2020年10月4日(日) 14:00~16:00
 司 会 港千尋(写真家)
 パネラー 伊藤俊治(美術史家)、
 平藤喜久子(神話学者、日本文化研究所所長)
 場 所 ガイダンスホール
 料 金 無料
 参加人数 65名



・トークイベント

テ ー マ 神話とアート—記憶と創造の未来に向けて
 日 時 2020年10月11日(日) 14:00~15:30
 ゲ ス ト 港千尋(多摩美術大学教授)、筋貴彦(元高橋士郎教室助手)、
 有馬拓也(株式会社バボット)
 場 所 ガイダンスホール
 料 金 無料
 参加人数 68名



・ワークショップ「神話に住むひとびと」

本展のテーマに関連し、岡本太郎の《明日の神話》や「自分の想像する神話」に登場させたいキャラクターを参加者に思い思いに描きました。

日 時 2020年9月20日(日) 10:00~12:00
 対 象 小学生以上
 場 所 展示室、創作アトリエ
 料 金 500円+観覧料
 参加人数 15名



<その他>

・会場 VR の公開

一般社団法人 VR 革新機構の協力により、展示室を高画質 360 度カメラで撮影し、会場 VR を作成しました。本展会場の VR は美術館ホームページ内の「太郎 VR 美術館」として公開し、多くの方に本展を VR や 3D ビューでご覧いただきました。

協 力 一般社団法人 VR 革新機構

■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・素材	所蔵
1	神話	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック	岡本太郎美術館蔵
2	触らぬ神	高橋士郎	1995	ナイロン布、送風機	作家蔵
3	細胞の神	高橋士郎	1994	ナイロン布、送風機	作家蔵
4	思考の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
5	重力の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
6	大気 of 神	高橋士郎	2014	ナイロン布、送風機	作家蔵
7	大地の神	高橋士郎	1997	ナイロン布、送風機	作家蔵
8	岩石の神	高橋士郎	1997	ナイロン布、送風機	作家蔵

9	谷戸の神	高橋士郎	1997	ナイロン布、送風機	作家蔵
10	生命の神	高橋士郎	2013	ナイロン布、送風機	作家蔵
11	相對の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
12	大事の神	高橋士郎	2006	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
13	棲処の神	高橋士郎	2002	ナイロン布、送風機	作家蔵
14	家屋の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
15	海の神	高橋士郎	1996	ナイロン布、送風機	作家蔵
16	河の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
17	用水の神	高橋士郎	2012	ナイロン布、送風機	作家蔵
18	風の神	高橋士郎	2014	ナイロン布、送風機	作家蔵
19	木の神	高橋士郎	1996	ナイロン布、送風機	作家蔵
20	山の神	高橋士郎	1989	ナイロン布、送風機	作家蔵
21	野の女神	高橋士郎	1991	ナイロン布、送風機	作家蔵
22	船の神	高橋士郎	1989	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
23	食物の女神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
24	火の神	高橋士郎	2017	ナイロン布、送風機	作家蔵
25	造形の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
26	涙の神	高橋士郎	2008	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
27	鉄剣の神	高橋士郎	1998	ナイロン布、送風機	作家蔵
28	八雷神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
29	黄泉軍	高橋士郎	1972	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
30	黄泉比良坂	高橋士郎	2011	ポリエステル布、送風機	作家蔵
31	伊邪那美	高橋士郎	1980	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
32	伊邪那岐	高橋士郎	2003	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
33	多くの禍	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
34	巨悪の呪	高橋士郎	1991	ポリエステル布、送風機	作家蔵
35	再生の神	高橋士郎	1984	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
36	免疫の神	高橋士郎	1984	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
37	浄化の女神	高橋士郎	2016	ポリエステル布、送風機	作家蔵
38	海底の神	高橋士郎	2013	ナイロン布、送風機	作家蔵
39	海中の神	高橋士郎	2013	ナイロン布、送風機、モーター	作家蔵
40	海上の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵
41	統治の神	高橋士郎	2019	ナイロン布、送風機	作家蔵

企画展

「クルト・セリグマンと岡本太郎」展

会 期	2020年10月24日(土)～2021年1月24日(日)
開催日数	65日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
後 援	米国大使館
協 力	The Seligmann Center of the Orange County Citizens Foundation, Chester, New York. Weinstein Gallery、堀内カラー
助 成	芸術文化振興基金
観 覧 料	一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	15,135名
1日平均	207名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	107点
担 当 者	佐々木秀憲、篠原優



図録



チラシ



展示風景

■開催趣旨■

本展は、岡本太郎(1911-96)に最も影響を与えた芸術家として知られるクルト・セリグマン(1900-62)と岡本との交流を紹介する展覧会です。

岡本太郎はパリに滞在中の1933年、前衛芸術家の団体アブストラクション・クレアシオン協会に参加し、多くの前衛芸術家たちと親しく交流しました。就中、クルト・セリグマンとは、同協会員の中でも最も親しく、岡本はセリグマンの影響を濃厚に受けたといえます。1935年には、セリグマン、岡本、並びにヴェリアミーの3人によりネオ・コンクレティスムを結成しパリで展覧会も開催しました。1936年セリグマンはアルレット夫人と共に東京を訪問し日本橋・三越百貨店にて個展を開催しました。そしてネオ・コンクレティスムは日本で広く知られました。1939年、ユダヤ系であるセリグマンはドイツ・ナチスの侵攻を察知し、活動の拠点をアメリカ・ニューヨークへと移しました。1940年代以降、セリグマンはパリ時代の芸術家仲間をニューヨークに次々に招いて紹介しました。岡本太郎も1953年にニューヨークで個展を開催しています。また、1951年東京都美術館において開催された読売アンデパンダン展におけるマーク・ロスコやジャクソン・ポロックなどの27名のアメリカ人芸術家の出品は、岡本とセリグマンの友情によって実現されました。1956年の「世界・今日の芸術展」に出品された8名16点の出品も岡本とセリグマンの友情によって実現しました。

本展では、岡本太郎の盟友であるクルト・セリグマンの作品を岡本の作品とともに紹介し、岡本芸術の形成過程を探ると共に、両者の友情によって第二次世界大戦後の日本の美術界にもたらされた影響の意義について検証しました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

読売新聞 2020年10月16日号、東京新聞 TODAY 2020年11月6日号

読売新聞 2020年12月5日号、読売新聞 2020年12月6日号

読売新聞 2020年12月9日号、

月評美術手帖「リボンの起源」(榎木野衣) 2021年2月号

■関連事業■

・開催記念連続講義 (各回 14:00-16:00)

第1回 : 「パリ時代の岡本太郎～クルト・セリグマンと岡本太郎」(11月8日)

第2回 : 「パリ時代の岡本太郎～《傷ましき腕》を中心に」(11月22日)

第3回 : 「戦後のセリグマンと岡本～1951年読売アンデパンダン展と1956年『世界・今日の美術展』」(12月6日)

第4回 : 「『芸術は呪術である』
～クルト・セリグマン著『魔法の鏡』と岡本太郎(12月20日)」

第5回 : 「太陽の塔の研究～ミルチャ・エリアーデの影響」(1月24日)

場 所 ガイダンスホール

講 師 佐々木秀憲

料 金 無料

参加人数 各回約30名



■出品リスト■

<出品作品>

No.	作品名	作者	技法	制作年	所蔵 (記載のないものは岡本太郎美術館蔵)
1	トルコ人	クルト・セリグマン	油彩、板	1932	個人蔵
2	均衡	クルト・セリグマン	油彩、板	1932-33	個人蔵
3	男の胸像	クルト・セリグマン	油彩、板	1933	個人蔵
4	戦闘	クルト・セリグマン	油彩、板	1934	個人蔵
5	毛皮と凧のトランペット	クルト・セリグマン	ガラス、油彩	1938	個人蔵
6	日曜日	クルト・セリグマン	油彩、板	1938	個人蔵
7	反響する洞窟	クルト・セリグマン	ミクストメディア	1941-43	個人蔵
8	メムノンと蝶	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1942	岡崎市美術館蔵
9	カルテット	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1944	個人蔵
10	闖入者	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1946	個人蔵
11	レボレッロ	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1946	個人蔵
12	追放者	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1947	個人蔵
13	悪魔と愚者	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1948	個人蔵
14	サイベルⅢ	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1949	個人蔵
15	クリスタル・ゲイザー	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1950	個人蔵
16	招魂	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1955	個人蔵
17	悪魔祓い	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1954	所蔵者不詳

18	エコセーズ	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1953-54	個人蔵
19	鋳打ち	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1958	個人蔵
20	変身	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1958	個人蔵
21	不詳	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1958	個人蔵
22	空間	岡本太郎	キャンバス、油彩	1934/54	
23	コントロールポアン	岡本太郎	キャンバス、油彩	1935/54	東京国立近代美術館
24	アブストラクション・ クレアシオン版画集				
24-1	コンポジション	ハンス(ジャン)・アルプ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:レリーフ、1930頃)	
24-2	二つの部分からなる構成	マックス・ビル	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1934頃)	
24-3	コンポジション	アレクサンダー・カルダー	リトグラフ、紙	1973(原作:グワッシュ、1932)	
24-4	リズム—色彩 No. 816	ソニア・ドローネー＝テルク	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1936)	
24-5	コンポジション	セザール・ドメラ	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	1973(原作:レリーフ、1936)	
24-6	渦巻	ハンス・エルニ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1936)	
24-7	白地のうへの痕跡3	ハンス・フィッシュリ	リトグラフ、紙	1973(原作:油彩、1934)	
24-8	コンポジション	フランティシェク・フォルティーン	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1934)	
24-9	時空にわたる コンポジション No. 36	ジャン・ゴラン	シルクスクリーン、紙	1973(原作:レリーフ、1936)	
24-10	均衡	ジャン・エリオン	リトグラフ、紙	1973(原作:水彩、1932)	
24-11	コンポジション	ヴァシリー・カンディンスキー	シルクスクリーン、紙	1973(原作:リトグラフ、1932)	
24-12	グラフィスム	テオ・ケルグ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:デッサン、1934)	
24-13	抽象	フランティシェク・クプカ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1931)	
24-14	二つの渦と楕円の窓	ファウスト・メロツティ	リトグラフ、紙	1973(原作:デッサン、1934)	
24-15	構成	ラーズロー・モホイ＝ナジ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1932)	
24-16	コンポジションD	ピエト・モンドリアン	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1932)	
24-17	空間	岡本太郎	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1933)	
24-18	宇宙の誕生	アントワヌ・ペヴスナー	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1933)	
24-19	幾何学的リズム	マウロ・レヅジャーニ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1932)	
24-20	訴え	ハンス・シーヌ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1930)	
24-21	抽象的絵画II	ヘンリック・スタージェフスキ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1930年頃)	
24-22	ユニズム・ コンポジション	ヴワディスワフ・スツシエミンスキ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1931年頃)	
24-23	青いフォルム	ゾフィー・トイバー＝アルプ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1935)	
24-24	コンポジション	テオ・ファン・ドゥースブルフ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1930年頃)	
24-25	$Y=-X^2+bx+c$ 赤・緑	ジョルジュ・ヴァントングルロー	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1933)	
24-26	コンポジション	ルイーゼ・ヴェロネージ	シルクスクリーン、紙	1973(原作:グワッシュ、1934)	

令和2年度 I. 事業報告 1. 企画展「クルト・セリグマンと岡本太郎」展

24-27	灰色の絵画	ポール・ヴェズレー	シルクスクリーン、紙	1973(原作:油彩、1935)	
24-28	コンポジション	ジャン・ヴィルリ	リトグラフ、紙	1973(原作:油彩、1932)	
24-29	コンポジション	フリードリヒ・フォルデンベルグ＝ギルデヴァルト	シルクスクリーン、紙	1973(原作:リトグラフ、1935)	
24-30	コンポジション	ジェラルド・ヴェリアミ	リトグラフ、紙	1973(原作:油彩、1933)	
25	貝の花	マックス・エルンスト	グワッシュ、紙	1935	岡崎市美術館
26	攻撃的な果実	ハンス(ジャン)・アルプ	ブロンズ	1965/81	岡崎市美術館
27	フェニックス	アントワーン・ペヴスナー	ブロンズ	1957	富山県美術館
28	版画集「紋章の放浪」				
28-1	ブカニエ	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-2	女バラシューター	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-3	隠者	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-4	ガスメートル調べ人	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-5	太公望	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-6	バタ屋	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-7	被手術者	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-8	夫	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-9	捕鳥者	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-10	掻き払い	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-11	旅人	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-12	山地の牧牛者	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-13	石炭王	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
28-14	魔女	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
29	吸血鬼 (版画集「心臓の突起」より)	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	個人蔵
30	隠者	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	個人蔵
31-1	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
31-2	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
31-3	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	エッチング、紙	1933-34	
32	石と樹	岡本太郎	エッチング、紙	1977	
33	眼と眼	岡本太郎	エッチング、紙	1977	
34	風神	岡本太郎	エッチング、紙	1977	
35	ブーメラン	下郷羊雄	油彩、板	1935	名古屋市美術館
36	指の上のローソク	下郷羊雄	キャンバス、油彩	1936	名古屋市美術館
37	作品	下郷羊雄	キャンバス、油彩	1938	名古屋市美術館
38	失題	下郷羊雄	油彩、板	1942	
39	偶成	下郷羊雄	キャンバス、油彩	1976	

40	近寄り難くも 優美なジョコンダ	ジェラルド・ ヴェリアミ	キャンバス、油彩	1940	個人蔵
41	国際シュルレアリスム・パリ 1938 展目録			1938	
42	シュルレアリストの グループ	マン・レイ	ゼラチン・ シルバー・プリント	1930	岡崎市美術博物館
43	無題 (マン・レイのマネキン)	マン・レイ	ゼラチン・ シルバー・プリント	1938/66	岡崎市美術博物館
44	銅版プレス機の後ろの メレット・オッペンハイム	マン・レイ	ゼラチン・ シルバー・プリント	1933	岡崎市美術博物館
45	鳥の足のテーブル	メレット・ オッペンハイム	ブロンズ、木	1939/83	岡崎市美術博物館
46	傷ましき腕	岡本太郎	キャンバス、油彩	1936/49	
47	人質の頭部	ジャン・フォートリエ	キャンバスに貼られた紙、 油彩	1945	石橋財団アーティゾン美術館(旧ブリヂストン美術館)
48	つかの間の静寂	マックス・エルンスト	キャンバス、油彩	1953-57	東京国立近代美術館
49	パンチュール	ジャン・アトラン	キャンバス、油彩	1955	一般財団法人草月会
50	コンポジション	ジャン・アトラン	キャンバス、油彩	1955	一般財団法人草月会
51	作品	ジャン・アトラン	キャンバス、油彩	1950	岡本太郎記念館
52	作品名不詳	ピエール・ アレシンスキー	キャンバス、油彩	1955	岡本太郎記念館
53	田園の一隅	ピエール・ アレシンスキー	キャンバス、油彩	1951	石橋財団アーティゾン美術館(旧ブリヂストン美術館)
54	親猫・子猫	カレル・アペル	キャンバス、油彩	1949	世田谷美術館
55	無題	山口勝弘	水彩、クレパス、 グアッシュ、ペン、紙	1949	
56	無題	山口勝弘	水彩、クレパス、紙	1950 年頃	
57	無題	山口勝弘	油彩、クレパス、紙	1950 年頃	
58	無題	山口勝弘	水彩、クレパス、紙	1950 年頃	
59	永久運動	北代省三	油彩、カルトン	1951	
60	空中都市	北代省三	油彩、カルトン	1952	
61	シーラカンス	北代省三	鉄、真鍮、塗装	1953-90	
62	スペース・モデレーター	北代省三	木、和紙	1956-92	
63	無題	福島秀子	インク、水彩、紙	1951	
64	無題	福島秀子	パステル、水彩、紙	1951	
65	無題	福島秀子	水彩、紙	1951	
66	無題	福島秀子	水墨、紙	1960	
67	無題	福島秀子	油彩、アクリル、 樹脂、ガラス、紙	1957	
68	山の男	勅使河原宏	キャンバス、油彩	1952	
69	顔	芥川紗織	キャンバス、油彩	1954	
70	倉庫	池田龍雄	インク、水彩、紙	1956	
71	ゴム族 (化け物の系譜シリーズ)	池田龍雄	インク、紙	1950 年代	
72	ゆりかご (化け物の系譜シリーズ)	池田龍雄	インク、鉛筆、水彩、紙	1956	

73	鼻 (百仮面シリーズ)	池田龍雄	インク、鉛筆、水彩、紙	1960	
74	起生	杉全 直	キャンバス、油彩	1956	〇美術館
75	組立て	山口長男	キャンバス、油彩	1956	富山県美術館
76	会話	岡本太郎	キャンバス、油彩	1956	岡本太郎記念館
77	憂愁	岡本太郎	キャンバス、油彩	1947	一般財団法人草月会
78	赤い兎	岡本太郎	キャンバス、油彩	1949	富山県美術館
79	作家	岡本太郎	キャンバス、油彩	1948	
80	二人	岡本太郎	キャンバス、油彩	1948	
81	まひるの顔	岡本太郎	キャンバス、油彩	1949	
82	群像	岡本太郎	キャンバス、油彩	1949	岡本太郎記念館
83	黒い太陽	岡本太郎	キャンバス、油彩	1949	
84	樹人	岡本太郎	キャンバス、油彩	1951	
85	夢の鳥	岡本太郎	キャンバス、油彩	1951	
86	歩く人	岡本太郎	キャンバス、油彩	1952	
87	足場	岡本太郎	キャンバス、油彩	1952	一般財団法人草月会
88	変身	岡本太郎	キャンバス、油彩	1953	
89	青空	岡本太郎	キャンバス、油彩	1954	
90	二つの顔	岡本太郎	キャンバス、油彩	1957	
91	裂けた顔	岡本太郎	キャンバス、油彩	1960	
92	風神	岡本太郎	キャンバス、油彩	1961	
93	黒い生き物	岡本太郎	キャンバス、油彩	1961	
94	具現	岡本太郎	キャンバス、油彩	1961	
95	想念	岡本太郎	キャンバス、油彩	1962	
96	行く人	岡本太郎	キャンバス、油彩	1962	
97	予感	岡本太郎	キャンバス、油彩	1963	
98	歓喜	岡本太郎	キャンバス、油彩	1963	
99	天空に我あり	岡本太郎	キャンバス、油彩	1967	
100	明日の神話	岡本太郎	キャンバス、油彩	1968	
101	記念撮影	岡本太郎	キャンバス、油彩	1975	
102	顔	岡本太郎	陶磁	1952	
103	サカナ	岡本太郎	コンクリート	1960	
104	鳥	岡本太郎	コンクリート	1960	
105	愛	岡本太郎	コンクリート	1961	
106	五大陸	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1968	
107	太陽の塔	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1970	

<資料>

No.	作品名	作者	制作年	所蔵
1	岡本一平から坂崎坦への書簡		1936年4月付	
2	美術雑誌『みづゑ』		1936年5月号	個人蔵
3	詩集『水たまり』	ジャン・ポール・コレ著 クルト・セリグマン挿絵	1933-34	
4	下郷羊雄アーカイヴ			個人蔵
5	岡本太郎からクルト・セリグマンへの書簡 (複写)		1948年9月18日 付	イエール大学・ バイネッケ稀観書・写本図書館
6	クルト・セリグマンからアメデ・オザンフ ァンへの借用覚書(複写)		1951年2月10日 付	イエール大学・バイネッケ稀観 書・写本図書館
7	美術雑誌『みづゑ』 『第3回日本アンデパンダン展』図録		1951年4月号	個人蔵
8	主催：読売新聞社 会期：1951年2月27日-3月18日 会場：東京都美術館 主催：読売新聞社			個人蔵

<参考画像>

No.	作品名	作者	技法	制作年	所蔵
参考画像1	「現代国際美術展」に出品された《闖入者》の前に立つ岡本太郎 会期：1950年8月1日-30日 会場：日本橋高島屋 主催：読売新聞社				
参考画像2	「世界・今日の美術展」(1956年)会場写真 (背景にセリグマンの《悪魔祓い》と《招魂》が確認できる。)				
参考画像4	電撃	岡本太郎	キャンバス、油彩	1947	岡本太郎記念館
参考画像6	スベルビア	クルト・セリグマン	キャンバス、油彩	1950	所蔵者不詳
参考画像7	室内	岡本太郎	キャンバス、油彩	1951	所蔵者不詳

<映像ブース>

映像ブース1 旅

- 1 優雅な船旅と汽車の旅
- 2 北米の南西部への旅

映像ブース2 1938年、パリの生活

- 3 1938年、パリの生活

映像ブース3 プリティッシュ・コロンビア州のキスパヤスク・ヴィレッジ

- 4 キスパヤスク村のトーテム・ポール
- 5 キスパヤスク村の人びとと儀式

企画展

「第24回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展

会 期	2021年2月20日(土)～4月11日(日)
開催日数	44日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、 公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般700(560)円、高・大学生・65歳以上500(400)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	15,197名
1日平均	353名(小数点以下、四捨五入)
図 録	リーフレットA5無料配布
ポスター	B2
チ ラ シ	長形はがきサイズ
出品点数	24点
担 当 者	佐藤玲子、重田文恵、佐藤明由美



リーフレット



DM



展示風景

■開催趣旨■

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で24回目をむかえる本賞では、616点の応募があり、創造性あふれる24名(組)の作家が入選。また最終審査を経て、岡本太郎賞1名、岡本敏子賞1名、特別賞5名が決定しました。

■受賞者■

岡本太郎賞	大西茅布《レクイコロス》
岡本敏子賞	モリソン小林《break on through》
特 別 賞	植竹雄二郎《Self portrait》
特 別 賞	牛尾篤《大漁鯖ン魚》
特 別 賞	小野環《再編街》
特 別 賞	唐仁原希《虹のふもとは宝物があるの》
特 別 賞	浮遊亭 κ ο ι λ ι α 《floating tea space》



大西茅布《レクイコロス》

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

読売新聞「岡本太郎賞に大西さん コロナの悲惨 群像に」2021年2月20日

読売新聞「「自然」「コロナ」心に響かせ」2021年2月23日

朝日新聞「ひと 史上最年少で岡本太郎賞を受けた高校3年生 大西茅布さん」(田中忍れ奈)2021年2月25日

産経新聞茨城版「被災地思い アナログ生活 土浦のイラストレーター・矢口祥子さん」(谷島英里子)2021年3月8日

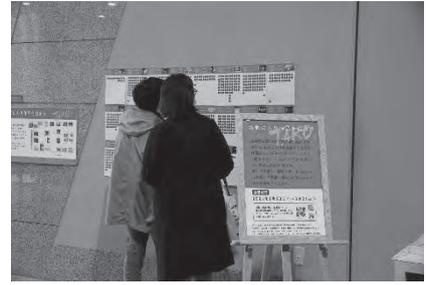
神奈川新聞「人類の悲惨を描く 大賞を高校生が最年少受賞」(下野綾)2021年3月8日

■関連事業■

・お気に入りを選ぼう

展示されている24点のTARO賞作品の中から、来館者がお気に入りの作品を選ぶイベント。受付で配布するカードについている赤いシールを、企画展出口にある投票ボードにシールを貼って投票してもらいました。

- 日 時 2021年2月20日（土）～3月21日（日）
 場 所 企画展示室、ギャラリースペース
 投票結果 1位 モリソン小林《break on through》
 2位 みなみりょうへい《雰囲気の向こう側》
 3位 西野壮平《別府温泉世界地図》
 4位 かえるかわる子《土浦の情熱「矢口新聞」》
 5位 唐仁原希《虹のふもとは宝物があるの》
 参加人数 4,354名



・お手紙プロジェクト

来館者が第24回TARO賞の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙に書いてポストに投函します。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示し、作家から返事をもらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。

- 日 時 2021年2月20日（土）～3月21日（日）
 場 所 ギャラリースペース



・リレートーク

出品作家によるギャラリートークです。

- 日 時 2021年4月11日（日）11:00～12:00
 作 家 東弘一郎、AYUMI ADACHI、植竹雄二郎、かえるかわる子、藤田朋一

■出品リスト■

No.	作家/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
1	東 弘一郎 《廻転する不在》	鉄、自転車	515×542×650
2	AYUMI ADACHI 《Line 線》	トレーシングペーパー、黒マーカー	500×500×50
3	植竹 雄二郎 《Self portrait》	繊維強化プラスチック	250×500×500
4	牛尾 篤 《大漁鯖魚》	油絵具、キャンバス	500×500×4
5	袁 方洲 《積み上げた影》	ガラス	105×300×200
6	太田 琴乃 《エピソード記憶》	アクリル、油彩、布、箔、顔料、キャンバス	227.3×363.6×5
7	大西 茅布 《レクイコロス》	キャンバス上の油絵	500×500×440
8	小野 環 《再編街》	百科事典、美術全集、接着剤、構造用合板、金具	サイズ可変
9	かえる かわる子 《土浦の情熱「矢口新聞」》	紙、アクリル絵の具、シート（ブラック、ブルー）、 電飾、クレヨン、段ボール他	500×500×500

10	加藤 立 《鑑賞者》	パフォーマー、絵画	サイズ可変
11	金子 朋樹 《Undulation／紆濤－オオヤマツミ－》	高知麻紙、顔料、染料、墨、箔、泥	364×574 変形屏風、 500×900
12	黒木 重雄 《Distance》	キャンバス、アクリル絵具	227.5×546×4
13	さとう くみ子 《家中ピクニック装置》	ミクストメディア	400×500×500
14	許 寧 《For you, for me－Earth, People》	キャンバスに油彩、和紙に水彩	377.3×427.4×10
15	園部 惠永子 《そろそろグングニル。》	ミクストメディア	500×500×500
16	唐仁原 希 《虹のふもとは宝物があるの》	キャンバス、パネル、油彩、壁紙	500×500×500
17	ながさわ たかひろ 《ウィズコロナの肖像》	イラストボード、アクリル絵具	200×500×100
18	西野 壮平 《別府温泉世界地図》	写真、布、アルミ、LED ライト	225×338×8
19	原田 愛子 《餅田餅男の最期》	映像作品	200×150×50
20	藤田 朋一 《机上の誉-きじょうのほまれ-》	アクリル板、木材（合板、化粧板、無垢材）、 藁縄、塗料	250×200×200
21	浮遊亭 骨牌 《浮遊亭 κ ο ι λ ι α》	檜、針葉樹、杉、アクリル、ガラス、珪藻土、漆喰、 和紙、墨汁	500×500×500 未満
22	みなみ りょうへい 《雰囲気の向こう側》	テレビ、街灯、照明器具、オブジェ、家具、パイプ椅子、 単管、額縁、キャンバス、コピー紙、廃材等	500×500×500
23	モリソン 小林 《Break on through》	金属（ほぼ鉄）	500×500×500
24	山崎 良太 《挑む戦闘服》	布、糸、鉄、ガラス、ビーズ、毛糸、プラスチック	500×500×150

2. 常設展

「太陽の塔への道～太陽の塔は『生命の樹』だった」展

会 期 2020年6月2日(火)～10月11日(日)
 開催日数 114日
 観 覧 料 一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、
 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
 出品点数 94点
 担 当 者 佐々木秀憲



ポスター

■開催趣旨■

《太陽の塔》は、岡本太郎による最も著名な作品です。岡本が同作品に込めた意図に関しては、いくつかの言説が提示されてきましたが、いずれも客観的で明確な根拠・証拠が全くなく、思弁的ではあっても実証的であるとは言い難いのです。当館所蔵の岡本旧蔵欧文書籍の研究結果により、岡本がミルチャ・エリアーデ(1907-86)の仏語初版本6冊を熟読していたことが明らかになり、岡本の創作活動への影響関係が明確になってきました。《太陽の塔》もエリアーデの著作、特に『シャーマニズム』と『イメージとシンボル』の影響が確認できます。本常設展では実証的な観点から、岡本太郎が《太陽の塔》に込めた意図を紹介しました。

■出品リスト■

No.	作品名	作家名	材質・技法	制作年
1	空間	岡本太郎	キャンバス、油彩	1934/54
2	重工業	岡本太郎	キャンバス、油彩	1949
3	夜	岡本太郎	キャンバス、油彩	1947
4	渾沌	岡本太郎	ブロンズ	1962
5	海の幸山の幸	岡本一平	墨、彩色、紙	制作年不詳
6	ある夫婦六態	岡本一平	墨、彩色、紙	制作年不詳
7	生々流転	岡本かの子	装幀・岡本太郎	1940
8	老妓抄・川	岡本かの子	装幀・岡本太郎(1986)	1939(小説)
9	天下泰平	岡本一平	墨、彩色、紙	制作年不詳
10	イザイホー(沖縄県)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
11	イザイホー(沖縄県)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
12	イザイホー(沖縄県)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
13	イザイホー(沖縄県)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
14	イザイホー(沖縄県)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
15	大御嶽(沖縄県・久高島)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
16	久高のろ(沖縄県・久高島)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1959
17	久高のろの手(沖縄県・久高島)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1959
18	大御嶽(沖縄県・久高島)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1959
19	大御嶽(沖縄県・久高島)	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	1959
20	樹人	岡本太郎	キャンバス、油彩	1951

21	ひそやかな跳躍	岡本太郎	キャンバス、油彩	1963
22	歓喜	岡本太郎	キャンバス、油彩	1963
23	流離	岡本太郎	キャンバス、油彩	1963
24	失われた記憶	岡本太郎	キャンバス、油彩	1963
25	明日の神話	岡本太郎	キャンバス、油彩	1968
26	黒い生き物	岡本太郎	キャンバス、油彩	1961
27	装える戦士	岡本太郎	キャンバス、油彩	1962
28	風	岡本太郎	木版画	1970
29	《太陽の塔》立面図	不詳	ブループリント	1968
30	《生命の樹》デッサン	不詳	鉛筆、色鉛筆、紙	1967-68
31	太陽の塔	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1970
32	《太陽の塔》図面	岡本太郎	冊子	1967-68
33	悲しい動物	岡本太郎	キャンバス、油彩	1966
34	天空に我あり	岡本太郎	キャンバス、油彩	1967
35	千手	岡本太郎	キャンバス、油彩	1965
36	眼の樹	岡本太郎	キャンバス、油彩	1978
37	明日の神話	岡本太郎	キャンバス、油彩	1968
38	ゆったり	岡本太郎	木、布	1956(原型)
39	ひもの椅子	岡本太郎	木、ロープ	1967(原型)
40	動物	岡本太郎	コンクリート	1959
41	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	陶磁	1963(原型)
42	駄々っ子	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1969(原型)
43	手の椅子	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1967(原型)
44	躍進	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1972
45	マスク	岡本太郎	繊維強化プラスチック、他	1970
46	花びらの椅子	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1970(原型)
47	ティーテーブル・遊び	岡本太郎	合板、金属	1967
48	ほおづえ	岡本太郎	布、金属	1968
49	まどろみ	岡本太郎	布、金属	1967
50	顔の椅子	岡本太郎	木	1953
51	風鐸	岡本太郎	ブロンズ	1966
52	太陽	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1985
53	夢の樹	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1983
54	未来を拓く	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1987
55	祭り	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1985
56	若い時計台	岡本太郎	アルミニウム	1966
57	樹霊II	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1981

58	河童像	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1981
59	樹人	岡本太郎	繊維強化プラスチック	1971
60	横たわる	岡本太郎	陶磁	1981
61	日輪	岡本太郎	陶磁	1987
62	れんげの大鉢	岡本太郎	陶磁	1987
63	歓喜	岡本太郎	陶磁	1977
64	風神	岡本太郎	陶磁	1978
65	雷神	岡本太郎	陶磁	1977
66	渾沌	岡本太郎	陶磁	1979
67	愛情	岡本太郎	ガラス	1965
68	緑の太陽	岡本太郎	ガラス	1969
69	顔	岡本太郎	ガラス	1990
70	まつげ	岡本太郎	ガラス、ステンレス	1978
71	人間ボトル	岡本太郎	陶磁	1985
72	火の接吻	岡本太郎	セラミック、プラスチック	1970
73	太陽	岡本太郎	プラスチック	1965
74	顔	岡本太郎	バッグ	1978
75	夢の鳥	岡本太郎	陶磁	1977
76	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	ブロンズ	1964
77	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	岡本太郎	ブロンズ	1972
78	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	ブロンズ	1972
79	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	銀	1972
80	日中テレビ祭日本代表団メダル	岡本太郎	アルミニウム	1984
81	国際眼科学会記念メダル	岡本太郎	銅	1978
82	フランス造幣局メダル	岡本太郎	銀、金鍍金	1986
83	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	銀	1987
84	トランプ	岡本太郎	紙	不詳
85	いのち	岡本太郎	アルミニウム	1986
86	手の椅子（ミニチュア）	岡本太郎	プラスチック	1970（原型）
87	日本海博覧会	岡本太郎	金属	1973
88	太陽の顔	岡本太郎	金属	不詳
89	太陽の顔	岡本太郎	金属	1970
90	花ひらく	岡本太郎	陶磁	1977
91	顔	岡本太郎	陶磁	1952
92	爆発	岡本太郎	陶磁	1981
93	ほほえみ	岡本太郎	陶磁	1986
94	動物	岡本太郎	ブロンズ	1956

常設展

「ウチの中の岡本太郎」展

会 期	2020年10月15日(木)～2021年1月24日(日)
開催日数	82日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	299点
担 当 者	佐藤明由美、大杉浩司



ポスター

■開催趣旨■

岡本太郎は、「芸術は大衆のもの」という考えのもとに、作品を工業生産化し暮らしの中で活かすことを提案すべく、食器、衣類、家具など数多くのインダストリアル作品を制作しました。またこの精神は太郎の没後にも引き継がれ岡本太郎グッズが生まれ出されています。作品のみならず作家本人もそのモチーフとなるなど、これほど多くのグッズが制作されている作家は他に類を見ません。私たちは今でも身近に岡本太郎とその芸術性に触れることができます。

自粛や在宅を求められる今、暮らしの中で楽しめる芸術をコンセプトに、岡本太郎が生前に手掛けたインダストリアルデザインと、没後に作られたグッズを中心に紹介しました。

■関連イベント■

・「蘇る VR 太陽の塔 ver. 3」

《太陽の塔》をVR動画で観覧しよう！

1970年大阪万博当時の《太陽の塔》の外観と地下空間、塔内部の「生命の樹」がバーチャル空間で蘇ります。

期 間 2020年11月21日(土)～2021年1月24日(日)

場 所 常設展示室

協 力 日本工業大学

■出品リスト■

<油彩>

No.	資料名	制作年	作者	材質・技法
1	犬	1954	岡本太郎	キャンバス、油彩
2	ドラマ	1958	岡本太郎	キャンバス、油彩
3	海辺	1954	岡本太郎	キャンバス、油彩
4	赤	1961	岡本太郎	キャンバス、油彩
5	森の掟	1950	岡本太郎	キャンバス、油彩
6	クリマ	1951	岡本太郎	キャンバス、油彩
7	遊ぶ子	1954	岡本太郎	キャンバス、油彩
8	遊ぶ	1983	岡本太郎	キャンバス、油彩
9	未来を見た	1971	岡本太郎	キャンバス、油彩
10	まひるの生物	1962	岡本太郎	キャンバス、油彩
11	海辺の肖像	1973	岡本太郎	キャンバス、油彩

12	風	1972	岡本太郎	キャンバス、油彩
13	休日	1963	岡本太郎	キャンバス、油彩
14	森の家族	1983	岡本太郎	キャンバス、油彩

<版画>

No.	資料名	制作年	作者	材質・技法
15	夜の会合	1974	岡本太郎	紙、リトグラフ
16	生成	1974	岡本太郎	紙、リトグラフ
17	子供の時間	1974	岡本太郎	紙、リトグラフ
18	太陽	1970	岡本太郎	紙、木版
19	顔	1970	岡本太郎	紙、木版
20	黒い顔	1975	岡本太郎	紙、シルクスクリーン
21	海辺	1975	岡本太郎	紙、シルクスクリーン

<彫刻>

No.	資料名	制作年	作者	材質・技法
22	手一赤	1981	岡本太郎	繊維強化プラスチック
23	手一青	1981	岡本太郎	繊維強化プラスチック
24	太陽の塔	1970	岡本太郎	繊維強化プラスチック
25	動物	1959	岡本太郎	繊維強化プラスチック
26	若い太陽の顔	1969	岡本太郎	繊維強化プラスチック
27	飛行船《レインボー号》	1973	岡本太郎	繊維強化プラスチック
28	樹霊Ⅱ	1971	岡本太郎	繊維強化プラスチック
29	河童像	1981	岡本太郎	繊維強化プラスチック
30	樹霊Ⅰ	1970	岡本太郎	繊維強化プラスチック、中に石膏
31	若い時計台	1966	岡本太郎	アルミ、RC、金属、ライト
32	夢の樹	1983	岡本太郎	繊維強化プラスチック
33	未来を拓く	1987	岡本太郎	繊維強化プラスチック
34	こどもの樹	1985	岡本太郎	繊維強化プラスチック
35	若い太陽の塔	1969	岡本太郎	繊維強化プラスチック
36	樹人	1971	岡本太郎	繊維強化プラスチック
37	風鐸	1966	岡本太郎	ブロンズ
38	午後の日	1967	岡本太郎	ブロンズ
39	動物	1956	岡本太郎	ブロンズ
40	犬の植木鉢	1955	岡本太郎	陶磁
41	顔の植木鉢	1988	岡本太郎	陶磁
42	神話	1980	岡本太郎	白銅
43	歓喜	1977	岡本太郎	陶磁
44	風神	1978	岡本太郎	陶磁
45	雷神	1978	岡本太郎	陶磁
46	渾沌	1979	岡本太郎	陶磁
47	日輪	1987	岡本太郎	陶磁
48	れんげ大鉢	1984	岡本太郎	陶磁
49	横たわる	1981	岡本太郎	陶磁

＜太郎の生前に制作された作品＞

No.	資料名	制作年	作者	材質/オブジェクトタイプ	所蔵(記載のないものは岡本太郎美術館蔵)
50	坐ることを拒否する椅子	1963	岡本太郎	陶磁/イス	
51	ティーテーブル 遊び	1967	岡本太郎	合板、金属/テーブル	
52	まどろみ	1967	岡本太郎	繊維強化プラスチック 布、金属/イス	
53	火の接吻	1970	岡本太郎	セラミック、プラスチック/ライター、灰皿	
54	花びら	1968	岡本太郎	ガラス/灰皿	
55	水差し男爵	1977	岡本太郎	ガラス/水差し	
56	水差し男爵	1977	岡本太郎	ガラス/水差し	
57	手の灰皿	1979	岡本太郎	ガラス/灰皿	
58	緑の太陽	1969	岡本太郎	ガラス/グラス	
59	顔のグラス	1976	岡本太郎	ガラス/グラス	
60	顔のグラス	1976	岡本太郎	ガラス/グラス	
61	顔のグラス	1976	岡本太郎	ガラス/グラス	
62	月の顔	1990	岡本太郎	鉄/ペーパーウエイト	
63	顔のプレート	1976	岡本太郎	ガラス/灰皿	
64	顔の椅子	1953	岡本太郎	木/イス	
65	人間ボトル	1985	岡本太郎	陶磁/ボトル	
66	あし	1978	岡本太郎	ガラス/灰皿	
67	まつげ	1978	岡本太郎	ガラス、ステンレス/アイ スペール、アイストーン	
68	ひとみ	1980	岡本太郎	ガラス/ペーパーウエイト	
69	風	1968	岡本太郎	陶磁/皿	
70	プロムナード	1969	岡本太郎	シャギー/タペストリー	
71	歩み	1967	岡本太郎	陶磁/花器	
72	歩み	1967	岡本太郎	陶磁/花器	
73	歩み	1967	岡本太郎	陶磁/花器	
74	不明	1974	岡本太郎	シルクサテン/スカーフ	
75	不明	1974	岡本太郎	シルクサテン/スカーフ	
76	不明	1976	岡本太郎	シルクサテン/スカーフ	
77	不明	1977	岡本太郎	シルクサテン/スカーフ	
78	ワインボトル (KUSATSU)	不明	岡本太郎	ガラス/ワインボトル	個人蔵
79	ワインボトル (森の神話/奥入瀬 溪流グランドホテル限定販売品)	不明	岡本太郎	ガラス/ワインボトル	個人蔵
80	ひもの椅子	1967	岡本太郎	木、紐/イス	
81	ひもの椅子	1967	岡本太郎	木、紐/イス	
82	スツール	1967	岡本太郎	アルミニウム、布/イス	
83	スツール	1967	岡本太郎	アルミニウム、布/イス	
84	原色卓	1967	岡本太郎	合板、金属/テーブル、イス	
85	ほおずえ	1968	岡本太郎	繊維強化プラスチック 布、金属/イス	
86	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/ティーセット	
87	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/ティーポット	
88	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/カップ、ソーサー	
89	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/ミルクピッチャー	
90	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/ティーポット	

91	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/シュガーボット	
92	黒い太陽	1977	岡本太郎	陶磁/マグカップ	
93	顔	1977	岡本太郎	陶磁/マグカップ	
94	花ひらく	1977	岡本太郎	陶磁/マグカップ	
95	太陽の皿	不明	岡本太郎	陶器/飾り皿	
96	男の子	不明	岡本太郎	陶器/醤油差し	
97	女の子	不明	岡本太郎	陶器/醤油差し	
98	プラネットチョコレート	1959	岡本太郎	スチール/缶	
99	信州野沢温泉 湯	不明	岡本太郎	竹、和紙/うちわ	
100	信州野沢温泉 湯	不明	岡本太郎	竹、和紙/うちわ	
101	不明	1974	岡本太郎	シルクサテン/スカーフ	
102	不明	1970	岡本太郎	コルク・ブリキ/壁掛け	
103	朝	1973	岡本太郎	綿/タオルケット	
104	不明	不明	岡本太郎	綿/タオルケット	
105	札幌オリンピック冬季大会記念 メダル	1972	岡本太郎	ブロンズ/メダル	
106	くにびき「神話」モニュメント 記念メダル	1980	岡本太郎	繊維強化プラスチック /メダル	
107	美濃カントリークラブ	1977	岡本太郎	金/メダル	
108	美濃カントリークラブ	1977	岡本太郎	銀/メダル	
109	日本を記録する8ミリフェスティバル	1973	岡本太郎	ブロンズ/メダル	
110	未来を拓く	1967	岡本太郎	ブロンズ/時計	
111	自由な私 高知市制100周年 自由	1988	岡本太郎	金属/ネックレス	個人蔵
112	FUTURE WATCH'88	1988	岡本太郎	ブロンズ/メダル	
113	国鉄民営化記念オリジナルメダル 《出発》	1987	岡本太郎	金/メダル	
114	日本海博覧会公式記念メダル	1973	岡本太郎	金/メダル	
115	白根火山ゴンドラ開通記念	1977	岡本太郎	樹脂、金属/ライター	
116	東京クリエーション大賞	1987	岡本太郎	銀メッキ/トロフィー	
117	涙のペンダント	1967	岡本太郎	金属/ペンダント	
118	涙のペンダント	1967	岡本太郎	金属/ペンダント	
119	太陽の顔	1970	岡本太郎	金属/カフス・タイピン	
120	不明	不明	岡本太郎	金属/ライター	
121	不明	1978	岡本太郎	金属/ネクタイピン	
122	太郎の手の時計	1972	岡本太郎	繊維強化プラスチック	
123	楽	1986	岡本太郎	金属、プラスチック、 ライト/電気スタンド	
124	喜	1984	岡本太郎	紙、木、漆/扇子	
125	喜	1984	岡本太郎	紙、木、漆/扇子	
126	まひる	1950	岡本太郎	紙、木/うちわ	
127	月夜	1950	岡本太郎	紙、木/うちわ	
128	太郎鯉	1981	岡本太郎	布/鯉幟	
129	魚	1965	岡本太郎	絹/ネクタイ	
130	不明	不明	岡本太郎	絹/ネクタイ	
131	不明	1982	岡本太郎	絹/ネクタイ	
132	不明	不明	岡本太郎	絹/ネクタイ	
133	不明	不明	岡本太郎	絹/ネクタイ	
134	不明	1982	岡本太郎	絹/ネクタイ	

135	不明	1982	岡本太郎	絹／ネクタイ	
136	不明	1965	岡本太郎	絹／ネクタイ	
137	不明	1970	岡本太郎	絹／ネクタイ	
138	不明	1965	岡本太郎	絹／ネクタイ	
139	技	1984	岡本太郎	紙、竹／扇子	
140	近鉄バファローズ ヘルメット	不明	-	ヘルメット	個人蔵
141	近鉄バファローズ 帽子	不明	-	帽子	
142	JOMON FESTIVAL IN FUJISAWA 縄文人	不明	-	Tシャツ	個人蔵
143	哄笑	1986	岡本太郎	ガラス／ステンドグラス	
144	母と子	1955	岡本太郎	紙、鉛筆、絵具／着彩	
145	トランプ	1977	岡本太郎	紙／トランプ	
146	CARNIBAL PRAZA	1983	岡本太郎	綿／トレーナー	
147	自由な私 高知市制 100 周年 自由	1988	岡本太郎	綿／Tシャツ	
148	THINK	1984	岡本太郎	綿／Tシャツ	
149	不明	1987	岡本太郎	綿／Tシャツ	
150	光る時計	1967	岡本太郎	アクリル、金属、ライト ／時計	
151	TARO 着物	不明	岡本太郎	着物	個人蔵
152	帯（名古屋帯）	不明	岡本太郎	帯	個人蔵
153	TARO 着物	不明	岡本太郎	着物	岡本太郎記念館
154	帯（西陣織）	不明	岡本太郎	帯	岡本太郎記念館
155	「新しい空を描け—もっと自由に、もっと高く。岡本太郎作 KOINOBORI」 東レ 榊原	1981	岡本太郎	ポスター	
156	「生命。つたわる。」 国鉄 九州	1986	岡本太郎	ポスター	
157	「自由な私 高知市制 100 周年 自由」	1989	岡本太郎	ポスター	
158	「岡本太郎作「顔のグラス」 ロバートブラウン」 キリン・シーグラム株式会社	1976	岡本太郎	ポスター	
159	「おっ、顔がかわったな。岡本太郎新作「顔のグラス」」 キリン・シーグラム株式会社	1977	岡本太郎	ポスター	
160	「旅立ちが、まぶしい。記念純金レリーフ『出発』」 寺内	1987	岡本太郎	ポスター	
161	「TARŌ の新作 岡本太郎「作」人間 ボトル、新発売。」 EXPO' 85 科学万博 女 男	1985	岡本太郎	ポスター	

<太郎の死後に制作されたグッズなど>

No.	資料名	制作年	作者	オブジェクトタイプ	所蔵(記載のないものは岡本太郎美術館蔵)
162	TARO100 祭	2011	岡本太郎記念現代芸術振興財団	ジャンパー	
163	太陽の塔のロボ T-シャツ	2014	BANDAI	Tシャツ	
164	太陽の塔のロボ T-シャツ	2014	BANDAI	Tシャツ	
165	太陽の塔のロボ 蓄光 T-シャツ	2014	BANDAI	Tシャツ	
166	太陽の塔のロボ 蓄光 T-シャツ	2014	BANDAI	Tシャツ	

167	adidas adicolor Yellow Series Y2 Reversible Track Jacket	2006	adidas	ジャージ	
168	不明	不明	-	浴衣	個人蔵
169	不明	不明	-	浴衣	個人蔵
170	不明	不明	-	開襟シャツ	個人蔵
171	不明	不明	-	開襟シャツ	個人蔵
172	奥入瀬溪流グランドホテル 甚平	不明	-	甚平	個人蔵
173	アロハシャツ (晴れ着リメイク)	不明	-	アロハシャツ	個人蔵
174	超合金 太陽の塔のロボ	2014	BANDAI SPIRITS	フィギュア	
175	岡本太郎像	2011	株式会社現代芸術 アトリエ	フィギュア	
176	太陽の塔	2011	株式会社海洋堂	フィギュア	
177	1/144 スケール 太陽の塔 塗装済 み完成モデル	2015/10	株式会社海洋堂	フィギュア	
178	1/350 スケール 太陽の塔	2015/12	株式会社海洋堂	フィギュア	
179	adidas adicolor Hi Y2 TARO Okamoto	2006	adidas	スニーカー	
180	不明	不明	-	スニーカー	
181	COMMEdesGARCONS スニーカー	不明	COMMEdesGARCONS	スニーカー	個人蔵
182	converse スニーカー (太陽の塔)	不明	converse	スニーカー	個人蔵
183	converse スニーカー (爆発)	不明	converse	スニーカー	個人蔵
184	converse スニーカー (眼)	不明	converse	スニーカー	個人蔵
185	エブロン (トランプ柄)	不明	-	エブロン	個人蔵
186	サイコロ椅子	1957	岡本太郎	イス	
187	太陽の塔のロボ フレキシブルラ バーマット ロボデザイン	2014	BANDAI SPIRITS	マット	
188	太陽の塔のロボ フレキシブルラ バーマット 青焼図面デザイン	2014	BANDAI SPIRITS	マット	
189	太陽の塔のロボ フレキシブルラ バーマット 実写デザイン	2014	BANDAI SPIRITS	マット	
190	森の神話	不明	岡本太郎	アルバム	
191	森の神話	不明	岡本太郎	メモホルダーセット	
192	森の神話	不明	岡本太郎	トレー	
193	トランプ	不明	岡本太郎	アルバム	
194	トランプ	不明	岡本太郎	メモホルダーセット	
195	トランプ	不明	岡本太郎	トレー	
196	坐ることを拒否する椅子	不明	-	置物	
197	手の椅子	不明	-	置物	
198	夢の鳥	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
199	夢の鳥	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
200	黄金の顔	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
201	光る彫刻	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
202	光る時計	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
203	光る時計	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
204	火の接吻	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
205	犬の植木鉢	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
206	パイラ人	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	

207	岡本太郎と太陽の塔	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
208	マスク	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
209	飛行船	2013	株式会社海洋堂	フィギュア	
210	タイムスリップグリコ大阪万博編 太陽の塔 2005	2005	江崎グリコ株式会社	フィギュア	
211	タイムスリップグリコ大阪万博編 太陽の塔	2005	江崎グリコ株式会社	フィギュア	
212	タイムスリップグリコ大阪万博編 お祭り広場	2005	江崎グリコ株式会社	フィギュア	
213	不明	1999		腕時計	
214	太陽の塔のロボ ラバークリップ 変形形態 2	2014	BANDAI SPIRITS	ラバークリップ	
215	太陽の塔のロボ ラバークリップ 変形形態 3	2014	BANDAI SPIRITS	ラバークリップ	
216	顔の時計	1967	-	時計	
217	太陽の塔 ぬいぐるみ だるま風	2017	株式会社サン・ア ロー	ぬいぐるみ	
218	太陽の塔 ぬいぐるみ ぶるぶる	2017	株式会社サン・ア ロー	ぬいぐるみ	
219	太陽の塔 リールパス	2017	株式会社サン・ア ロー	パスケース	
220	iPhone6/7/8 用ケース(太陽の塔)	2018/02	株式会社現代芸術 アトリエ	iPhone ケース	
221	ソフビトイボックス 坐ることを 拒否する椅子 赤	2018/02	株式会社海洋堂	フィギュア	
222	ソフビトイボックス 坐ることを 拒否する椅子 青	2018/02	株式会社海洋堂	フィギュア	
223	ソフビトイボックス 坐ることを 拒否する椅子 オレンジ	2018/02	株式会社海洋堂	フィギュア	
224	ソフビトイボックス 坐ることを 拒否する椅子 緑	2018/02	株式会社海洋堂	フィギュア	
225	ミニチュア(犬の植木鉢)	2007/08	株式会社現代芸術 アトリエ	フィギュア	
226	太陽の塔 4つの顔	2018/12	株式会社海洋堂	フィギュア	
227	コップのフチの太陽の塔	2015	株式会社奇譚クラ ブ	フィギュア	
228	フィギュア 地底の太陽 塗装済み 完成モデル	2018/03	株式会社海洋堂	フィギュア	
229	NEW ERA リュックサック	不明	NEW ERA	リュックサック	個人蔵
230	紙袋 (オリエンタル中村)	不明	-	紙袋	個人蔵
231	紙袋 (国鉄民営化記念 出発)	不明	-	紙袋	個人蔵
232	紙袋 (国鉄 九州)	不明	-	紙袋	個人蔵
233	健康絵馬 販促物 (旗)	不明	-	旗	個人蔵
234	健康絵馬 販促物 (幟)	不明	-	幟	個人蔵
235	健康絵馬 販促物 (横断幕)	不明	-	横断幕	個人蔵

236	不明	不明	-	ベルト用バックル	個人蔵
237	不明	不明	-	ループタイ	個人蔵
238	不明	不明	-	ネックレス	個人蔵
239	ALL WE NEED IS LOVE ■愛こそはすべて■	不明	-	CD	個人蔵
240	ねんりん CD 選書 No. 2	不明	-	CD	個人蔵
241	モーツァルト・クラブ9 無邪気な残酷	不明	-	CD	個人蔵
242	いこい	不明	-	のれん	個人蔵
243	第23回国際眼科学会記念切手	不明	-	ディスプレイ	個人蔵
244	近代映画協会作品「母」	不明	-	冊子	個人蔵
245	日本映画新社 近代映画協会作品「触角」	不明	-	冊子	個人蔵
246	近代映画協会製作／松竹株式会社 配給 「本能」	不明	-	冊子	個人蔵
247	健康絵馬（太陽）	不明	-	絵馬	個人蔵
248	健康絵馬（龍）	不明	-	絵馬	個人蔵
249	ブーサン	不明	-	マッチ箱	個人蔵
250	第23回国際眼科学会記念切手封筒	不明	-	封筒	個人蔵
251	三田文学 第54巻 第4号	不明	-	冊子	個人蔵
252	月刊教育ジャーナル5月号	不明	-	冊子	個人蔵
253	芽 創刊号	不明	-	冊子	個人蔵
254	セニボン（和光堂株式会社）	不明	-	販促物	個人蔵
255	CINEMA D'ESSAI 2	不明	-	冊子	個人蔵
256	CINEMA D'ESSAI 12	不明	-	冊子	個人蔵
257	MAZDA「太陽」ステッカー	不明	-	ステッカー	個人蔵
258	MAZDA「太陽」Tシャツ	不明	-	子ども用Tシャツ	個人蔵
259	アートシアター 新宿文化劇場 半券	不明	-	チケット	個人蔵
260	持田製薬株式会社 創業100周年 記念品	不明	-	時計	個人蔵

<椅子コーナー>

No.	資料名	制作年	作者	材質・技法
261	手の椅子	1967	岡本太郎	繊維強化プラスチック
262	駄々っ子	1969	岡本太郎	繊維強化プラスチック
263	坐ることを拒否する椅子	1963	岡本太郎	陶磁
264	手の椅子	1967	岡本太郎	繊維強化プラスチック
265	ゆったり	1956	岡本太郎	木、布
266	スツール	1967	岡本太郎	アルミニウム、布
267	スツール	1967	岡本太郎	アルミニウム、布
268	銀彩ゆかた かえる	不明	岡本太郎	布

269	銀彩ゆかた かえる	不明	岡本太郎	布
270	太郎鯉	1981	岡本太郎	布
271	マスク	1970	岡本太郎	繊維強化プラスチック
272	マスク	1970	岡本太郎	繊維強化プラスチック
273	マスク	1970	岡本太郎	繊維強化プラスチック

<太郎とスキーのコーナー>

No.	資料名	制作年	作者	材質・技法
274	ブリザード ウィザード	不明	岡本太郎	グラスファイバー
275	カザマ	不明	岡本太郎	グラスファイバー
276	カザマ スペシャルコンビネーションモデル	不明	岡本太郎	木

<骨董通り>

No.	資料名	制作年	作者	材質/オブジェクトタイプ
277	顔	1978	岡本太郎	革/ショルダーバッグ
278	顔	1978	岡本太郎	革/セカンドバッグ
279	顔	1978	岡本太郎	革/ポシェット
280	顔	1978	岡本太郎	革/メガネケース
281	顔	1978	岡本太郎	革/札入れ
282	顔	1978	岡本太郎	革/財布
283	顔	1978	岡本太郎	革/小銭入れ
284	顔	1978	岡本太郎	革/ペンケース
285	顔	1978	岡本太郎	革/手帳
286	顔	1978	岡本太郎	革/アドレス帳
287	顔	1978	岡本太郎	革/キーホルダー
288	顔	1978	岡本太郎	革/カード入れ
289	顔	1978	岡本太郎	革/定期入れ
290	愛情	1965	岡本太郎	ガラス/グラス
291	まつげ	1978	岡本太郎	ガラス、ステンレス/アイスペール、アイストング
292	緑の太陽	1969	岡本太郎	ガラス/グラス
293	顔のグラス	1976	岡本太郎	ガラス/グラス
294	夢の鳥	1977	岡本太郎	陶磁/ティーセット

<一平・かの子コーナー>

No.	資料名	制作年	作者	材質・技法
295	ある夫婦の六態・浮世六態	不明	岡本一平	紙、墨、絵具
296	漱石八態	不明	岡本一平	紙、墨、絵具
297	潮来へオイデ	不明	岡本一平	紙、墨、絵具
298	白梅	不明	岡本かの子	絹、墨
299	かの子撩乱	1965	著者：瀬戸内晴美 装丁：岡本太郎	紙

常設展

「岡本太郎の旅」展

会 期	2021年1月28日(木)～4月11日(日)
開催日数	64日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	156点
担 当 者	篠原優



ポスター

■開催趣旨■

岡本太郎は多くの旅の中で、民族学的な視点から、日本や世界の文化とその土地に暮らす人々の生命力の源流を探りました。1957年から1966年にかけて岡本は東北から沖縄まで日本各地を巡り、その取材旅行をもとに『日本再発見—芸術風土記』や『神秘日本』『忘れられた日本〈沖縄文化論〉』を執筆しました。また、1963年にはメキシコに初めて訪れ、それを機に世界各地を巡った記録をエッセイ『美の世界旅行』として刊行しています。

岡本は取材先でいつも一眼レフカメラを持ち歩き、自身で撮影した写真の多くを著作に掲載しました。道行く人々や街並み、路傍の石像、祭りなど、岡本の捉えた風景は色褪せない新鮮さを持ってその土地の活力を伝えてきます。

本展では岡本が主に取材で訪れた旅先を辿りながら、写真を中心に、同時期に制作された油彩や彫刻、取材旅行をもとに執筆した著作などを紹介しました。

■出品リスト■

<出品作品>

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	祭り	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
2	空間	岡本太郎	1934/54(再制作)	キャンバス、油彩
3	喫煙者	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
4	森の掟	岡本太郎	1950	キャンバス、油彩
5	装える戦士	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩
6	旅立ち	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩
7	遭遇	岡本太郎	1981	キャンバス、油彩
8	眼と眼	岡本太郎	1992	キャンバス、油彩
9	万治の石仏/長野・下諏訪	岡本太郎	1974	ゼラチン・シルバー・プリント
10	御柱祭	岡本太郎	1980年4月13日	クロモジェニック・カラープリント
11	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
12	まひるの生物	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩
13	爐ばた(打菓子)/秋田	岡本太郎	1957年2月16日	ゼラチン・シルバー・プリント
14	威儀を正して挨拶し、お神酒をふるまう(なまはげ)/秋田・男鹿半島 芦沢	岡本太郎	1957年2月12日	ゼラチン・シルバー・プリント
15	浦上天主堂跡・屋根にっていた唐獅子/長崎	岡本太郎	1957年3月8日	ゼラチン・シルバー・プリント

16	市中至る所、駄菓子屋で売っている中国 味豊かなゴマパン/長崎	岡本太郎	1957年3月8日	ゼラチン・シルバー・プリント
17	修理中の眼鏡橋/長崎	岡本太郎	1957年3月7日	ゼラチン・シルバー・プリント
18	清水寺付近/京都	岡本太郎	1957年4月16日	ゼラチン・シルバー・プリント
19	向月台/京都 銀閣寺	岡本太郎	1955年4月29日	ゼラチン・シルバー・プリント
20	問屋街/大阪	岡本太郎	1957年1月18日	ゼラチン・シルバー・プリント
21	道頓堀/大阪	岡本太郎	1957年7月18日	ゼラチン・シルバー・プリント
22	出雲大社 本殿・背面/出雲 出雲大社	岡本太郎	1957年5月14日	ゼラチン・シルバー・プリント
23	神代神楽・大蛇/出雲 出雲大社	岡本太郎	1957年5月14日	ゼラチン・シルバー・プリント
24	清水寺・本坊/出雲 安来	岡本太郎	1957年5月15日	ゼラチン・シルバー・プリント
25	鹿踊り/岩手・花巻	岡本太郎	1957年6月16日	ゼラチン・シルバー・プリント
26	金色堂内陣中央須弥壇 /岩手・平泉 中尊寺	岡本太郎	1957年6月15日	ゼラチン・シルバー・プリント
27	札所/高知・五台山 竹林寺	岡本太郎	1957年8月13日	ゼラチン・シルバー・プリント
28	阿波おどり/徳島	岡本太郎	1957年8月9日	ゼラチン・シルバー・プリント
29	哄笑	岡本太郎	1986	ステンドグラス
30	壺屋/沖縄・那覇	岡本太郎	1959年11月18日	ゼラチン・シルバー・プリント
31	牧志公設市場/沖縄・那覇	岡本太郎	1959年11月28日	ゼラチン・シルバー・プリント
32	紅型を干す/沖縄・那覇	岡本太郎	1959年11月21日	ゼラチン・シルバー・プリント
33	首里の静かな石畳/沖縄・那覇	岡本太郎	1959年11月21日	ゼラチン・シルバー・プリント
34	首里城趾の龍樋/沖縄・那覇	岡本太郎	1959年11月21日	ゼラチン・シルバー・プリント
35	糸満の浜/沖縄・糸満	岡本太郎	1959年11月22日	ゼラチン・シルバー・プリント
36	イザイホー/沖縄・久高島	岡本太郎	1966年12月26-30日	ゼラチン・シルバー・プリント
37	大御嶽/沖縄・久高島	岡本太郎	1959年11月24日	ゼラチン・シルバー・プリント
38	川平の獅子舞/沖縄・石垣島	岡本太郎	1959年11月27日	ゼラチン・シルバー・プリント
39	斎場御嶽/沖縄・知念	岡本太郎	1959年11月23日	ゼラチン・シルバー・プリント
40	中城城跡/沖縄・中城	岡本太郎	1959年11月19日	ゼラチン・シルバー・プリント
41	石垣と白い道/沖縄・竹富島	岡本太郎	1959年11月29日	ゼラチン・シルバー・プリント
42	川倉地蔵/青森・金木町 川倉賽	岡本太郎	1962年7月23日	ゼラチン・シルバー・プリント
43	恐山/青森	岡本太郎	1962年7月21日	ゼラチン・シルバー・プリント
44	オシラさま/青森・田名部	岡本太郎	1962年7月22日	ゼラチン・シルバー・プリント
45	荒馬/青森・金木町	岡本太郎	1962年7月24日	ゼラチン・シルバー・プリント
46	三途の川の地蔵/青森・恐山	岡本太郎	1962年7月21日	ゼラチン・シルバー・プリント
47	古座河内祭/和歌山・古座川	岡本太郎	1963年7月14日	ゼラチン・シルバー・プリント
48	那智火祭/和歌山 熊野那智大社	岡本太郎	1963年7月14日	ゼラチン・シルバー・プリント
49	那智火祭/和歌山 熊野那智大社	岡本太郎	1963年7月14日	ゼラチン・シルバー・プリント
50	天徳院庭園/和歌山・高野山	岡本太郎	1955年8月7日	ゼラチン・シルバー・プリント
51	羽黒山の松例祭 神前に祈禱を行う 山伏/山形・羽黒山	岡本太郎	1962年12月31日	ゼラチン・シルバー・プリント
52	田麦俣/山形・出羽三山	岡本太郎	1962年10月19日	ゼラチン・シルバー・プリント
53	花田植/広島・壬生	岡本太郎	1963年6月23日	ゼラチン・シルバー・プリント
54	平和公園/広島	岡本太郎	1963年7月26日	ゼラチン・シルバー・プリント
55	かまくらのある町/秋田・横手	岡本太郎	1957年2月14日	写真パネル
56	鬼剣舞/岩手・花巻温泉	岡本太郎	1957年6月16日	写真パネル
57	闘牛/沖縄・読谷	岡本太郎	1959年11月22日	写真パネル

58	花田植 飾牛/広島・壬生 高峰神社	岡本太郎	1963年6月23日	写真パネル
59	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
60	失われた記憶	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
61	行く	岡本太郎	1962	油彩、紙
62	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
63	テオティトラン/メキシコ・オアハカ	岡本太郎	1967年7月30日	ゼラチン・シルバー・プリント
64	コアトリクエ/ メキシコ 国立人類学博物館	岡本太郎	1967年7月28日	ゼラチン・シルバー・プリント
65	ウシュマル/メキシコ・ユカタン	岡本太郎	1967年8月4日	ゼラチン・シルバー・プリント
66	カバー遺跡/メキシコ・ユカタン	岡本太郎	1967年8月4日	ゼラチン・シルバー・プリント
67	マチュピチュ/ペルー	岡本太郎	1967年8月14日	ゼラチン・シルバー・プリント
68	パレンケのピラミッド/メキシコ	岡本太郎	1967年8月3日	ゼラチン・シルバー・プリント
69	ベナレス水浴/ インド・ベナレス (バラナシ)	岡本太郎	1972年	クロモジェニック・カラープリント
70	インド	岡本太郎	1972年	クロモジェニック・カラープリント
71	上のサンシンのチャンスン/韓国・公州	岡本太郎	1977年7月1日	ゼラチン・シルバー・プリント
72	鳳山仮面劇/韓国・ソウル 国立音楽院	岡本太郎	1977年6月28日	ゼラチン・シルバー・プリント
73	千手	岡本太郎	1965	キャンバス、油彩
74	訣別	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
75	反世界	岡本太郎	1963-64	鉛筆、墨・紙
76	訣別	岡本太郎	1967	鉛筆、インク・紙
77	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
78	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
79	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
80	天に舞う	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
81	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
82	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	繊維強化プラスチック
83	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
84	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
85	駄々っ子(椅子)	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
86	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
87	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
88	ほおづえ	岡本太郎	1968	布、金属
89	原色卓	岡本太郎	1967	合板、金属
90	太陽	岡本太郎	1978	ガラス
91	いこい	岡本太郎	1978	ガラス
92	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁
93	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
94	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ
95	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶磁
96	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
97	四ツ足	岡本太郎	1956	陶磁
98	雑草	岡本太郎	1956	陶磁
99	笑い	岡本太郎	1952	陶磁
100	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ

101	女神像	岡本太郎	1979	繊維強化プラスチック
102	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
103	こどもの樹	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
104	リョウラン	岡本太郎	1989	繊維強化プラスチック
105	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム
106	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
107	樹霊II	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
108	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
109	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
110	笑う村上善男	岡本太郎	1956	陶磁
111	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁
112	風神	岡本太郎	1978	陶磁
113	雷神	岡本太郎	1978	陶磁
114	渾沌	岡本太郎	1979	陶磁
115	日輪	岡本太郎	1987	ブロンズ
116	れんげ大鉢	岡本太郎	1984	グラス

<その他>

No.	作品名	作者	制作年	オブジェクトタイプ
117	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1976	メダル
118	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	メダル
119	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	メダル
120	国鉄民営化記念オリジナルメダル 《出発》	岡本太郎	1987	メダル
121	トランプ	岡本太郎	1977	トランプ
122	いのち	岡本太郎	1986	ペーパーウェイト
123	手の椅子	岡本太郎	1970	置物
124	日本海博覧会	岡本太郎	1973	タイピン、カフス
125	不明	岡本太郎	不明	ライター
126	太陽の顔	岡本太郎	1970	タイピン、カフス
127	花ひらく	岡本太郎	1977	マグカップ
128	顔	岡本太郎	1952	マグカップ
129	爆発	岡本太郎	1981	マグカップ
130	ほほえみ	岡本太郎	1986	ポブリ入れ
131	愛情	岡本太郎	1965	グラス
132	緑の太陽	岡本太郎	1969	グラス
133	顔のグラス	岡本太郎	1976	グラス
134	まつげ	岡本太郎	1978	アイスペール、アイストング
135	人間ボトル	岡本太郎	1985	ボトル
136	火の接吻	岡本太郎	1970	ライター、灰皿
137	太陽	岡本太郎	1965	飾り皿
138	顔	岡本太郎	1978	バッグ
139	夢の鳥	岡本太郎	1977	ティーセット
140	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1964	メダル
141	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	岡本太郎	1972	メダル

142	オリンピックミュンヘン大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	メダル
143	潮来へオイデ	岡本一平	制作年不明	
144	漫画色紙	岡本一平	制作年不明	
145	起きいでて窓をひらけば	岡本かの子	制作年不明	
146	伊豆の海に白波たてば	岡本かの子	1919年頃	
147	東海道五十三次漫画絵巻	岡本一平	1921	
148	不明	岡本一平	制作年不明	

<資料>

No.	作品名	作者	制作年	オブジェクトタイプ
149	信州野沢温泉 遊 湯	-	1992	ポスター
150	信州野沢温泉 湯	-	1983	ポスター
151	岡本太郎が所有していたカメラ	-	-	-
152	岡本太郎が所有していた民芸品	-	-	-
153	日本再発見—芸術風土記	-	1958	書籍
154	忘れられた日本〈沖縄文化論〉	-	1961	書籍
155	神秘日本	-	1964	書籍
156	美の世界旅行	-	1982	書籍

3. 共催・協力企画展

「岡本太郎展 太陽の塔への道」

会 場 秋田市立千秋美術館、新潟県立万代島美術館
 会 期 (秋田市立千秋美術館) 2020年7月18日(土)～9月6日(日)、
 (新潟県立万代島美術館) 2020年12月19日(土)～2021年3月7日(日)
 主 催 秋田市立千秋美術館、AAB秋田朝日放送、(公財)岡本太郎記念現代芸術振興財団
 新潟県立万代島美術館、BSN新潟放送、岡本太郎展新潟実行委員会、(公財)岡本太郎記念現代芸術振興財団
 特別協力 川崎市岡本太郎美術館
 制作協力 NHKプロモーション
 貸出点数 各会場11点



秋田会場チラシ



新潟会場チラシ

「生誕110年 岡本太郎—パリから東京へ」展

会 場 鳥取県立博物館
 会 期 2021年2月11日(木・祝)～3月21日(日)
 主 催 「岡本太郎展」実行委員会(鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社)、
 読売新聞社、美術館連絡協議会
 企画協力 川崎市岡本太郎美術館
 貸出点数 64点



チラシ

4. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
荒川修作	《Is as It: Blind Intention IV》 エッチング・紙、1982-83年	株式会社名古屋画廊	¥110,000 (税込)
荒川修作	《Is as It: Blind Intention V》 エッチング、アクアチント、手彩色・ 紙、1982-83年	株式会社名古屋画廊	¥110,000 (税込)

寄贈作品・資料

作者名	作品名	寄贈元	摘要
村上善男	《作品名不詳》 油彩・キャンバス、1974年頃	株式会社ギャラリー青城	
岡本太郎	岡本太郎関連資料（50点）	岡本太郎記念館 (公益財団法人岡本太郎記念 現代芸術振興財団)	

作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
黒い情熱	岡本太郎	1962	油彩	1000043	黴孢子除去、亀裂部接着、画面 洗浄、手垢除去、絵具剥落部充 填、同充填部補彩、擦傷部修復、 保護膜塗布	有限会社 吉村美術 研究所
黒い顔	岡本太郎	1963	油彩	1000051		
招待	岡本太郎	1976	油彩	1000055		
顔Ⅳ	岡本太郎	1968	油彩	1000063		
眼の樹	岡本太郎	1978	油彩	1000090		
つら	岡本太郎	1983	油彩	1000094		
二人	岡本太郎	1985	油彩	1000115		
霊視	岡本太郎	1992	油彩	1000076		

想い	岡本太郎	1988	油彩	1000119	
森の掟	岡本太郎	1950	油彩	1000012	絵具亀裂部及び浮上部接着

貸出作品及び資料

本年度貸出作品：5件，141点

作品名	作家名	制作年	分類	展覧会名／会期・会場
太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻	「開館50周年 超・名品」展 2020.6.2-6.7（当初予定では2020.4.11-6.7） 兵庫県立美術館
《eyewitness》より バレエ実験劇場『未来のイヴ』舞台風景	大辻清司	1955/ 2008	写真	「生誕100年 ロボットと芸術」展 2020.7.18-9.6 苫小牧市美術博物館
《eyewitness》より バレエ実験劇場『未来のイヴ』舞台風景	大辻清司	1955/ 2008	写真	
《eyewitness》より バレエ実験劇場『未来のイヴ』舞台模型	大辻清司	1955/ 2008	写真	
作家 （秋田会場のみ）	岡本太郎	1948	油彩	「岡本太郎展 太陽の塔への道」 2020.7.18-9.6 秋田市立千秋美術館 2020.12.19-2021.3.7 新潟県立万代島美術館
二つの顔 （秋田会場のみ）	岡本太郎	1957	油彩	
風神 （秋田会場のみ）	岡本太郎	1961	油彩	
想念 （秋田会場のみ）	岡本太郎	1962	油彩	
駄々っ子	岡本太郎	1951	油彩	
暴走	岡本太郎	1963	油彩	
跳ぶ	岡本太郎	1963	油彩	
リョウラン	岡本太郎	1963	油彩	
愛撫	岡本太郎	1964	油彩	
顔VI	岡本太郎	1970	油彩	
美女と野獣 （新潟会場のみ）	岡本太郎	1949	油彩	
建設 （新潟会場のみ）	岡本太郎	1956	油彩	
アドレッサン （新潟会場のみ）	岡本太郎	1961	油彩	
エクセホモ （新潟会場のみ）	岡本太郎	1963	油彩	
風	岡本太郎	1980	版画	

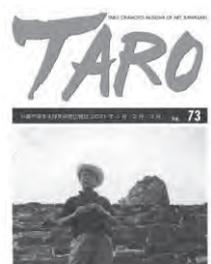
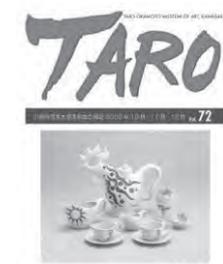
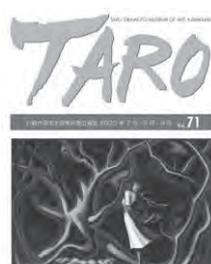
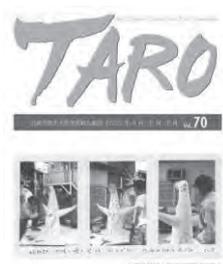
鬼剣舞（二子村、岩手）	岡本太郎	1957 (撮影)	写真	<p>「デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉」 2020. 11. 21-2021. 1. 17 北海道立近代美術館 2021. 1. 24-3. 13 イルフ童画館 2021. 3. 20-5. 23 北九州市漫画ミュージアム 2021. 8. 7-10. 11 三鷹市美術ギャラリー 2021. 10. 23-12. 26 足利市立美術館</p>
鹿踊り（花巻温泉、岩手）	岡本太郎	1957 (撮影)	写真	
那智火祭（和歌山）	岡本太郎	1963 (撮影)	写真	
縄文土器・模様（長野県出土、東京国立博物館）	岡本太郎	1956 (撮影)	写真	
縄文土器・把手（富山県出土、東大人類学教室）	岡本太郎	1956 (撮影)	写真	
アブストラクション・クレ アション版画集	アブストラク ション・クレ アション協会 30名分	1930s/ 1973	版画	<p>「生誕110年 岡本太郎—パリから東京へ」展 2021. 2. 11-3. 21 鳥取県立博物館</p>
紋章の放浪（14点）	クルト・セリ グマン	1933-34	版画	
水たまり（3点）	クルト・セリ グマン	1935	版画	
失題	下郷羊雄	1942	油彩	
傷ましき腕	岡本太郎	1936/49	油彩	
作家	岡本太郎	1948	油彩	
二人	岡本太郎	1948	油彩	
重工業	岡本太郎	1949	油彩	
まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩	
黒い太陽	岡本太郎	1949	油彩	
樹人	岡本太郎	1951	油彩	
夢の鳥	岡本太郎	1951	油彩	
歩く人	岡本太郎	1952	油彩	
変身	岡本太郎	1953	油彩	
青空	岡本太郎	1954	油彩	
二つの顔	岡本太郎	1957	油彩	
裂けた顔	岡本太郎	1960	油彩	
黒い生きもの	岡本太郎	1961	油彩	

風神	岡本太郎	1961	油彩
具現	岡本太郎	1961	油彩
行く人	岡本太郎	1962	油彩
想念	岡本太郎	1962	油彩
予感	岡本太郎	1963	油彩
歓喜	岡本太郎	1963	油彩
天空に我あり	岡本太郎	1967	油彩
顔	岡本太郎	1952	陶器
太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻
マスク (3点)	岡本太郎	1970	レリーフ
坐ることを拒否する椅子 (3点)	岡本太郎	1963	インダストリアル
岡本太郎撮影写真 (34点)	岡本太郎		写真
映像資料 (6件)			映像

5. 情報・刊行物

刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 70～73	21×13.5 (cm) 三つ折	・企画展案内 ・常設展案内 ・イベント報告 ・美術館カレンダー ・美術館利用案内	20,000部 (各5,000部発行)
2019-2021 川崎市岡本太郎美術館 教育普及 記録集	A5版	・教育普及事業の記録	300部
令和元年度(平成31年度) 川崎市岡本太郎美術館年報 当館ホームページにて、PDF版の閲覧が可能 https://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html	A4版	・事業報告 (企画展・常設展・共催・協力 企画展・収集・保存・貸出・情報・ 刊行物・教育・普及事業・美術 館協議会・資料収集・評価委員 会) ・資料 (入館者数統計・美術館事業予 算・決算概要) ・組織名簿 ・美術館概要 ・美術館条例・規則	300部



美術館ニュース「TARO」 Vol.70～73



川崎市岡本太郎美術館
教育普及記録集



令和元年度(平成31年度)
川崎市岡本太郎美術館年報

6. 教育・普及事業

イベント・ワークショップ

<どこでも TARO アトリエ>

「どこでも TARO アトリエ」は、2020年4月に出された緊急事態宣言下で、多くの方がご自宅で過ごされている時期に、美術館へ行けなくてもご自宅で太郎さんの作品を楽しんでもらえるように始めたコンテンツです。これまで好評だったワークショップなどから、大人でも子どもでも気軽に楽しめるアイデアをご紹介します。緊急事態宣言解除後も、遠方にお住まいの方がご来館しにくいことは変わりにくいため、開館後もしばらくの間「どこでも TARO アトリエ」の公開・更新は続けました。



・第1弾 みんなで作ろう！こどもの樹

例年GW期間中に、「こどもの日」関連イベントとして「みんなで作ろう！こどもの樹」を開催していましたが、今年は「どこでも TARO アトリエ」企画として、ご自宅で塗り絵をしてオリジナルの《こどもの樹》を制作できるように、作品画像を公開しました。



・第2弾 《傷ましき腕》を再現しよう

美術の教科書などでも取り上げられる事が多い、岡本太郎の《傷ましき腕》を再現してみました。

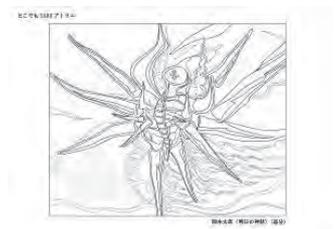
作品を再現しようとする、なんと難しいことか！

よく観察して、家にある自分で思いついた材料で工夫して再現するアイデアを公開しました。



・第3弾 ちょっと手ごわい？ TARO 塗り絵①

太郎さんの絵画を「塗り絵」として楽しむ大人向けのワークショップをこれまで何度か行いました。《明日の神話》(中央部分のみ)《クリマ》《記念撮影》の3点を初心者向けに、A4サイズに印刷して使用できる画像を公開しました。



・第4弾 TARO 鯉に挑む！～ミニチュア TARO 鯉を作ろう！～

毎年、ワークショップ「TARO 鯉に挑む！」をこどもの日に向けたイベントとして開催し、太郎さんの作品を鑑賞してから、思い思いに鯉のぼりを作成し、母の塔広場に展示してきました。鯉のぼりに対しての太郎さんの言葉や、ミニチュア TARO 鯉の制作方法を公開しました。



・第5弾 つくろう！ミニチュア・坐ることを拒否する椅子

本館の展示作品の中で、実際に座ることができる《坐ることを拒否する椅子》は、子どもたちに大人気の商品です。そのミニチュア坐ることを拒否する椅子を身近な材料（紙粘土・ペットボトルのキャップ・絵の具等）で作ります。簡単な制作方法を公開しました。



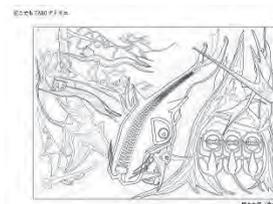
・第6弾 おうちで「実験茶会」

昭和30（1955）年4月3日岡本太郎さんの南青山の自宅で行われた「実験茶会」は、北大路魯山人や丹下健三などが招待され開かれました。当日は太郎さん自身による懐石もふるまわれ、形にとらわれない自由な発想の「実験茶会」だったそうです。自分でお気に入りのものに囲まれた「実験茶会」を開いてみるアイデアを公開しました。



・第7弾 ちょっと手ごわい？ TARO 塗り絵②

岡本太郎の絵画を「塗り絵」で楽しむシリーズの2回目は、難易度の高い《森の掟》《夜》《予感》の3点を公開しました。



・第8弾 テキスタイルで遊ぼう！

平成31年度に《プリント服地デザイン》の展示と合わせて“テキスタイルで遊ぼう！”と題して、綿のトートバッグに身の回りのものを使ってペイントするワークショップを行いました。太郎さんのテキスタイル作品《プリント服地デザイン》と制作風景の写真や、ワークショップ風景、制作方法を公開しました。



・第9弾 《月の壁》のモビール

1957年～1991年に旧東京都庁舎に飾られていた、岡本太郎の壁画《月の壁》をモチーフにモビールを制作しました。壁ではなくモビールで再現してみたら…おうちに太郎作品が出現！型紙も一緒に公開しました。



・第10弾 切って・彫って・刷ったろー！～版画に挑戦～

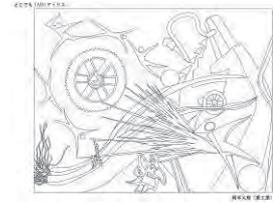
岡本太郎さんの作品の中から、《子どもの樹》《太陽の塔》《森の掟》を版画にしました。紙版画・木版画・ゴム版画で作っています。実際のを反転した型紙を掲載しています。

簡単な版画の制作方法を公開しました。



・第11弾 ちょっと手ごわい？ TARO 塗り絵③

岡本太郎の絵画を「塗り絵」で楽しむシリーズの3回目は、難易度の高い《重工業》《犬》《戦士》の3点を公開しました。



・第12弾 TARO ビーズ刺繍

《太陽の塔》《マスク》《明日の神話》のモチーフを、ビーズ刺繍にしました。作品をブローチにして身に着けてみましょう。作り方は《太陽の塔》の顔をモチーフにしたものを公開しました。



・第13弾 TARO 切り絵

1940年代、パリ在住の岡本太郎は、自宅窓に「シュルレアリスム風の紙絵」を貼って楽しんでたと、彫刻家・高田博厚がエッセイに記しています。今回は太郎さんの作品を切り絵にしてみました。簡単な制作方法と《太陽の塔》《子どもの樹》《森の掟》の下絵（一部）を公開しました。



・第14弾 おうちで美術館めぐり～太郎 VR 美術館&ワークシート～

美術館に行きたくてもなかなか行けないという方、学校の鑑賞授業の課題として美術館に行きたいけど今年は難しそうだと思われる学校の先生方に向け、ワークシートを活用したオンライン美術館鑑賞を紹介。美術館で使用しているワークシートを公開しました。



・第15弾 シャツはファンタジー！

太郎さんの「シャツはあらゆるファンタジーが可能で遊べる」という言葉をヒントに、Tシャツにアイロンシートで模様を施し、オリジナルシャツを作ってみましょう！《明日の神話》のモチーフを一部にして、夏を楽しむTシャツの作り方を公開しました。



・第16弾 タイルに見立てて～TARO ちぎり絵～

太郎さんの作品の中には、モザイクタイルを使ったものが多くあります。旧国鉄神田駅構内に展示されていた《遊ぶ》《花ひらく》《駆ける》などは現在岡本太郎美術館で所蔵しています。今回は折り紙や和紙をちぎってモザイクタイルに見立てて太郎さんの作品に挑戦し、TARO ちぎり絵を公開しました。



・第17弾 どこでも TARO キッチン①

太郎さんのオリジナル料理のレシピを紹介。

“ひき肉のワンタン包み揚げ”と“えのきだけと納豆のあえもの”を紹介しました。



・第18弾 どこでも TARO キッチン②

太郎さんのオリジナル料理のレシピ紹介の第二弾。

“モンパルナッスのカリフラワーいため”と“たらこのにんにくあえ”を紹介しました。



・第19弾 マスク（仮面）を作ろう！

常設展示室の椅子コーナーやギャラリースペースの上部に太郎さんの《マスク》が展示されています。太郎さんの作ったマスクはどれもとってもユニークです。今回は張り子に挑戦し、自分のマスク（仮面）を作ります。張り子を使ってのマスクの作り方を紹介しました。



<イベント・ワークショップなど>

・TARO 鯉にいどむ！ inラゾーナ川崎プラザ *中止

ワークショップ日程 2020年① 4月4日(土) ② 5日(日) 13:00~15:30

内 容 恒例となった出張ワークショップ「TARO 鯉に挑む！」を、川崎駅に隣接しているラゾーナ川崎プラザのイベント会場で行います。

場 所 ラゾーナ川崎プラザ イベントスペース

料 金 無料

・TARO 鯉にいどむ！2020 *中止

ワークショップ日程 2020年① 4月19日(日)、② 25日(土)、③ 26日(日) 13:00~15:30

展示日程 2020年5月2日(土)~5月6日(水振)

内 容 今年で8回目になるイベント。毎年実施している恒例イベントで、常設展示や屋外に展示している《TARO 鯉》を鑑賞し、アトリエで思い思いの鯉のぼりを制作し、母の塔広場に展示します。

場 所 創作アトリエ、常設展示室、ギャラリースペース、母の塔前広場

料 金 無料(要観覧料)

・こどもの樹をつくろう！ *中止

ワークショップ日程 2020年5月3日(日祝)~5日(火祝) 13:00~16:00

展示日程 2020年5月3日(日祝)~5月31日(金)

内 容 今年で3回目のイベント。《こどもの樹》には、個性豊かな顔が並びます。こどもの樹の顔で作った塗り絵と自由に描ける紙を用意し、一人一人が自由に顔を描いて《こどもの樹》を作ります。

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

・はいはい&よちよち美術館ツアー *中止

日 時 2020年① 4月8日(水)② 5月13日(水) ③ 6月10日(水) 10:30~11:30

内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しむことで、コミュニケーションを図ったり、小さな子でも無理なく美術館の雰囲気を感じてもらったりすることができる鑑賞会。

場 所 ガイダンスホール~常設展示室

対 象 3か月~3才の幼児とご家族 先着10組

料 金 要観覧料

・TARO 切り絵

日 時 2020年7月23日(木祝) ①10:00~11:00 ②13:30~14:30

内 容 「どこでも TARO アトリエ」で公開した「TARO 切り絵」から、《太陽の塔》や《子どもの樹》の顔を切り絵にしました。作った切り絵をラミネートし、夏の季節にふさわしいコースターにしました。子どもも大人も夢中になって制作に取り組んでいました。

場 所 常設展示室、ガイダンスホール

講 師 普及企画

料 金 無料

参加人数 ①6名 ②12名 (先着順/電話受付)



・夏休み！子どものための美術館探検 2020

日 時 2020年8月1日(土)～16日(日) 9:30～17:00
内 容 小中学生が、自主的に美術館を鑑賞する手助けになるよう、“美術館探検手帳”を常設展示室入口に設置しました。常設展示室の壁にある《遊ぶ字》や、太郎さんのエピソードを踏まえた作品鑑賞、作品を守るための美術館独特の機会など、様々な視点から美術館や作品を観られる内容にしました。参加者には《太陽の塔》紙版台紙や特製《森の掟》シールなどをプレゼントしました。

場 所 常設展示室
料 金 無料
参加人数 608名



・美術館裏探検

日 時 2020年8月10日(月祝) ①11:00～11:20 ②13:30～13:50
内 容 普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する子ども限定のイベント。第一収蔵庫、第二収蔵庫、大型エレベーター・搬入口・キャットウォークなどを探検しながら、美術館がどのように作品を保管し展示しているのかについて話しました。普段は入れない場所にキョロキョロ、ワクワクしている子ども達の様子がかがえました。

場 所 常設展示室、バックヤード
対 象 小学生以上
料 金 無料
参加人数 ①9名 ②10名 (先着順/電話受付)



・TARO ビーズ刺繍

日 時 2020年8月22日(土) 13:30～15:00
内 容 「どこでも TARO アトリエ」で公開した《太陽の塔》の顔をモチーフに「TARO ビーズ刺繍」を制作しました。制作の難易度から大人向けにし、身近に太郎作品を取り入れてもらえるようブローチに仕立て、様々な方法で作る楽しみも感じてもらいました。

場 所 常設展示室、ガイダンスホール
対 象 大人(針と糸の扱いに慣れた方であれば、どなたでも参加できます)
料 金 要観覧料、500円
参加人数 9名(先着順/電話受付)



・神話に住むひとびと

- 日 時 2020年9月20日(日) 10:00~12:00
- 内 容 岡本太郎の《明日の神話》は、何を訴えかけているのか学びながら、思い思いに神話に出てきそうな、不思議なキャラクターを制作しました。作品にこめられた思いを感じるために、展示室で《明日の神話》の登場キャラクターの表情をスケッチし、制作では、絵具のデカルコマニーやたらし込みなどでさまざまなテクスチャーを作り、絵具の表情の中から想像を膨らましキャラクターやそのパーツを探し出し、組み合わせオリジナルの物語やキャラクターを制作しました。
- 場 所 常設展示室、創作アトリエ
- 対 象 小学生以上
- 講 師 普及企画
- 料 金 500円 + 要観覧料
- 参加人数 15名 (先着順/電話受付)



・みんなでスケッチ ～“太陽”を描こう！～

- 日 時 2020年10月4日(日) 10:00~12:00
- 内 容 第10回キッズ TARO 展に展示する作品を美術館で制作する内容。今回のテーマ“太陽”をテーマにしている作品を鑑賞し、展示室でスケッチをしてから思い思いの“太陽”を描きました。岡本太郎の様々な“太陽”への思いや、考えに触れ、子ども達それぞれの中の“太陽”を考えるきっかけとなりました。
- 場 所 常設展示室、創作アトリエ、ギャラリースペース
- 対 象 中学生以下
- 参加人数 21名 (先着順/電話受付)



・第10回キッズ TARO 展—テーマ「太陽」—

- 日 時 2020年10月24日(土)~11月23日(月祝)
- 内 容 自由な発想で、独創的な作品を作り続けた岡本太郎。その精神を受け継ぎ、子どもの無邪気で自由な表現の場として、第10回目となるキッズ TARO 展を開催しました。今年のテーマ「太陽」のもと、幅広い作品が集まりました。
- 場 所 ギャラリースペース
- 対 象 中学生以下
- 応募者数 113名



・文化財ポスター展

日 時 2021年1月7日(木)～1月24日(日)
 内 容 神奈川県教育委員会で行われる文化財保護ポスター展の作品から、川崎市内の中学生による作品を美術館のギャラリースペースに展示し、来館者にご覧いただきました。
 場 所 ギャラリースペース
 展示点数 7点



・Taro バースデーコンサート～花ひらく愛のうた～

内 容 岡本太郎は1911年2月26日生まれ。110歳のバースデーを祝って、コンサートを開催いたしました。今年は、音楽ユニット“モデスティーナ”によるオペラのプログラムとなりました。ドニゼッティ作曲 歌曲集「ボジリポの夏の夜」より“I bevitore”（よっぱらい）や、オペラ「ラクメ」より“花の2重唱”など、華やかな演奏となりました。お客さんに楽しんで頂けるよう、太郎さんへのバースデーソングの演奏の際には、手拍子でお客様にも参加いただき、会場が一体となり温かな雰囲気になりました。



日 時 2021年2月23日(火祝) 13:30～14:30
 場 所 美術館ギャラリースペース
 出 演 楠野麻衣(ソプラノ)、丸尾有香(メゾソプラノ)、藤原藍子(ピアノ) / (藤原歌劇団)
 料 金 無料(椅子席35席は要観覧券)
 参加人数 椅子席35名(事前電話受付)、立ち見119名
 協 力 昭和音楽大学/株式会社プレルーディオ

・はいはい&よちよち美術館ツアー

日 時 2020年①9月9日(水)②10月21日(水)③11月11日(水)
 2021年④2月10日(水)⑤3月10日(水) 各回10:30～11:30

内 容 今年で4年目となり定着していましたが、新型コロナの影響を受け、4～6月は中止となりました。定員を半数にし感染症対策を十分にとり再開しました。親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気を味わってもらい鑑賞会を行いました。



場 所 ガイダンスホール、常設展示室
 対 象 3か月～3才の幼児とそのご家族
 講 師 普及企画
 料 金 要観覧料
 参加人数 ①4組(9名)②5組(11名)③5組(12名)④2組(4名)⑤5組(12名) (先着順/電話受付)

団体利用実績

学校団体や教育機関による鑑賞学習やグループ学習を、対象年齢や学習目的に応じて先生と話し合いながら行うもの。今年度は例年同様に、こどもの樹コース(ワークシートを手がかりに個人またはグループで鑑賞)、森の掟コース(スタッフによる対話型鑑賞)等に分け、鑑賞プログラムの充実を図っていましたが、新型コロナウイルスの流行により、見学を予定していた学校は中止となりました。現在は感染症対策を踏まえた鑑賞プログラムを検討し、人数を半数にし、展示室での鑑賞時間を短縮する形で団体の受入れを始めています。活動内容も変更し、スタッフによる対話型鑑賞を屋外作品で行い、展示室内ではワークシートを使用して、個人鑑賞を行っています。

<R2 学校等受入数>

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	1	8
8	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	1	7
9	1	105	0	0	1	34	0	0	0	0	1	9	3	148
10	3	246	2	128	2	15	0	0	0	0	2	20	9	409
11	6	705	3	191	0	0	1	15	1	30	2	27	13	968
12	7	846	2	23	1	84	0	0	0	0	0	0	10	953
1	2	190	1	30	1	5	0	0	0	0	1	14	5	239
2	2	196	1	20	0	0	0	0	0	0	2	14	5	222
3	1	67	4	696	0	0	0	0	2	25	1	12	8	800
合計	21	2355	13	1080	6	145	1	15	3	55	10	104	54	3754

学校プログラム

<職場体験・インターンシッププログラム>

体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験します。

今年度受入校数 0校



<出張授業>

美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。

今年度受入校数 1校（5年・6年）



<職業講話>

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で職業体験ができませんでした。その代替りとして学校に出向き職業講話を行っています。美術館施設の目的や内容を広く学んでもらうために、美術館で働く人達の、それぞれの仕事内容について映像を通しお話ししています。

今年度受入校数 1校



教材開発と利用

<映像資料>

・「岡本太郎の芸術」

岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説

時間：20分

*テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



・マナーDVD

小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたもの。



<作品プリント>

「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

*個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

<大型作品プリント>

内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品



<作品カード (アートカード) >

美術館見学の事前授業で使用するなど、年間 70 件近くの利用があり、前回のリニューアルより 5 年経過したため、破損や衛生面を考慮し、使用者が気持ちよく使えるようにケースを新しくしました。



【パウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 7 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 10 作品

版 画：《眼》《夢》全 2 作品

レリーフ：《マスク》全 1 作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全 3 作品

<子ども向け自由鑑賞ワークシート>

学校団体向けの鑑賞コースに 30 年度よりワークシートを活用したコースを加え、目的に合わせた各種ワークシートを展示内容に合わせて普及企画スタッフで作成しています。美術館での学習だけでなく、学校授業でも使用していただけます。

・“遊ぶ！”ガイドマップ

主な作品のカラー画像があります。



・歩いて 感じて 書き留めマップ

鑑賞のきっかけになる質問やメモスペースが多くある内容。各展覧会に合わせた内容。



・トークインワークシート

4~6 名の班に分かれて鑑賞する内容。ちょっと変わったキーワードがワークシートにあり、それをきっかけに子ども同士が対話をしながら鑑賞します。各展覧会に合わせた内容。

* 令和 2 年度は、感染症対策で展示室内での会話を控えるため使用を取りやめました。



美術館教育研究会

- 日 時 2021年3月4日(木) 15:00~16:30
場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ
議 題 (1) 令和2年度の普及事業報告
○学校対応事業
○学校・地域連携事業
○イベント・ワークショップ事業
(2) 令和3年度の教育普及事業予定
○学校団体利用について
・学校団体鑑賞プログラムの内容
・鑑賞ワークシートの活用
・貸し出し教材
○展覧会、イベント予定
(3) その他



出席者

小・中学校:

長澤秀行(総合教育センター指導主事)、佐藤利行(渡田中学校校長)、中臣信丈(川崎小学校校長)、澁谷加寿子(南原小学校校長)、丸尾明彦(古川小学校校長)、北潟美波(柘形中学校教諭)、本多隆(稲田中学校教諭)、坂井祐子(稲田中学校教諭)、鈴木貴久(新城小学校教諭)、藤井敬三(向丘小学校教諭)、吉田ゆかり(中原小学校教諭)、眞砂野礼(川中島小学校教諭)

美術館:

古内久(岡本太郎美術館副館長)、佐藤玲子(普及企画担当係長)、那須川慧(普及企画職員)、尾崎美幸(普及企画職員)、千村曜子(普及企画職員)、重田正恵(普及企画職員)

7. 指定管理者による自主事業

イベント・ワークショップ

・かわいいコケ玉をつくろう！

日 時	2020年7月19日(日) ①10:30～11:30 ②14:30～15:30
内 容	昨年の好評を受け、観葉植物に植え込み目玉をつけた現代風の コケ玉作り教室を開催しました。緊急事態宣言下の休館明けで 感染対策も万全を期し、屋外で席数を半分にして間隔も空け、 マスク着用・消毒液完備で臨みました。巣ごもりストレスから 解放されてか、親子での泥こねが皆さん大変楽しそうでした。 美術館屋上の苔の管理者に参加・説明を頂き、美術館の緑化努 力への関心も深めました。
場 所	母の塔下(屋外) ※荒天中止
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	小山裕行(日比谷花壇)
料 金	1,300円
参加人数	①14名(うち同伴6名) ②21名(うち同伴8名) 事前電話受付



・TAROマルシェ

日 時	2020年10月11日(日) 11:00～16:00
内 容	学芸担当と協同で、コロナで活動が制限されたアート作家を支援す るマルシェを企画開催しました。母の塔下に展開した10張のテン トとステージのもと、作家の作品販売7店、コント上演、生花やス イーツ、コーヒー豆販売、焼きそばや和菓子、チャイ等計20店が 出店し、企画展最終日に大変な賑いを添えました。
場 所	母の塔前広場
来場者数	約800名



・美術館でフラワーレッスン Vol.9「初春の慶び」

日 時	2020年12月26日(土) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00
内 容	感染症拡大による自粛から約1年ぶりにアレンジ教室を再開しまし た。大変だった1年を終え新年への願いがこもる新春飾りを企画し、 2回開催とも満席で、参加者皆さん久しぶりの創作への没頭でコロ ナストレスから解放されたひとときを楽しみました。
場 所	創作アトリエ、常設展示室
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	重田章子(日比谷花壇認定講師)
料 金	2,300円
参加人数	①10名(うち同伴1名) ②10名(うち同伴2名) 事前電話受付



・TARO 凧をつくろう！

日 時 2021年1月16日(土) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00

内 容 3年目を迎える人気の凧作り教室を開催しました。感染対策で席数を半分にしましたが家族での参加が多く大変でした。今回は凧絵に岡本作品を描く子が多く、完成した凧を外で楽しそうに飛ばして緑地でのびのびの時間を満喫されていました。

場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 小山裕行(日比谷花壇)

料 金 500円

参加人数 ①17名(うち同伴7名)②22名(うち同伴14名) 事前電話受付



※2月27日(土)開催予定だった「美術館でフラワーレッスン Vol.1.8 花手毬アレンジ」は再度の緊急事態宣言を受け3月13日(土)に延期、更に緊急事態宣言発令のため令和3年度に再延期しました。

※記載イベントのほか令和2年度は5月・7月・9月・11月開催予定だった「美術館でフラワーレッスン」及び、4月・5月・10月・12月に予定していた「専修大学 EmoHill アカペラライブ」が新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言と専修大学側の方針により中止となりました。

川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より「生田緑地共同事業体」(構成企業:(株)日比谷花壇、(株)日比谷アメニス、東急プロパティマネジメント(株))が指定管理者業務を行っています。

8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

第1回

日 時：令和2年9月18日（金）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原純（美術評論家）
委 員 藤 嶋 俊 會（美術評論家）
光 田 由 里（DIC川村記念美術館学芸課長）
室 井 絵 里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

・令和2年度事業経過・予定について

1 展覧会事業

(1) 企画展

「音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展

「高橋士郎 古事記展 神話芸術テクノロジー」展

「クルト・セリグマンと岡本太郎」展

「第24回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

(2) 常設展

2 資料収集・整理、調査研究

3 作品の保存・修復、貸出

4 普及企画

5 広報活動

6 施設・設備の整備

7 その他：予算・決算、統計データ等について

(1) 予算・決算資料

(2) 統計データ

・その他

第2回

日 時：令和3年3月19日（金）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原純（美術評論家）
委 員 藤 嶋 俊 會（美術評論家）、
光 田 由 里（元DIC川村記念美術館学芸課長）
室 井 絵 里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

・令和2年度事業経過について

1 展覧会事業

(1) 企画展

「音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展

「高橋士郎 古事記展 神話芸術テクノロジー」展

「クルト・セリグマンと岡本太郎」展

「第24回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

(2) 常設展

- 2 資料収集・整理、調査研究
- 3 作品の保存・修復、貸出
- 4 普及企画
- 5 広報活動
- 6 施設・設備の整備
- 7 その他：予算・決算、統計データ等について

(1) 予算・決算資料

(2) 統計データ

- ・令和3年度事業予定について
- ・令和2年度事業評価について

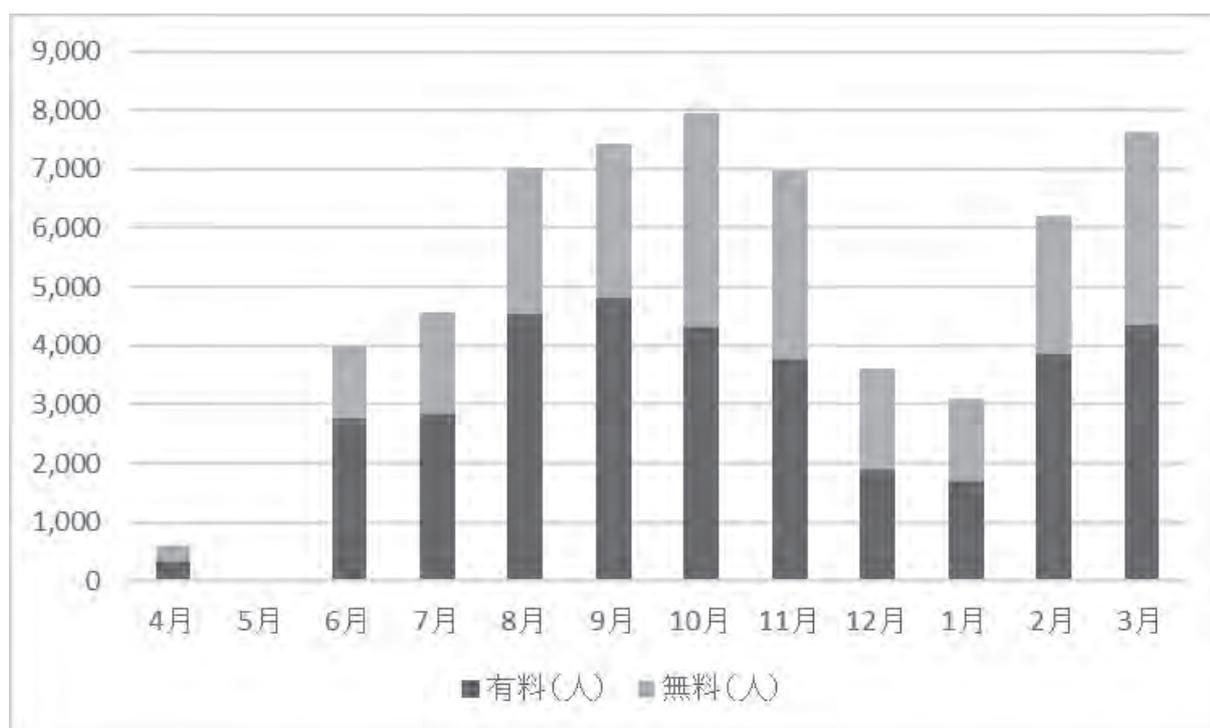
II. 資料

1. 入館者数統計

令和2年度 月別入館者数

月	開館日数	一日平均 (人)	有料 (人)	無料 (人)	合計 (人)
4	9	66	346	251	597
5	0	0	0	0	0
6	25	159	2,764	1,219	3,983
7	27	169	2,855	1,705	4,560
8	26	270	4,530	2,488	7,018
9	26	286	4,802	2,636	7,438
10	25	318	4,325	3,635	7,960
11	24	291	3,763	3,219	6,982
12	24	150	1,883	1,720	3,603
1	22	141	1,695	1,404	3,099
2	22	282	3,854	2,341	6,195
3	26	293	4,337	3,277	7,614
合計	256	231	35,154	23,895	59,049

※4月11日(土)～6月1日(月)までは新型コロナウイルス緊急事態宣言を受け、臨時休館。



年度別入館者数

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
平成11年度	124	43,420	29,593	73,013	586
平成12年度	292	49,532	31,837	81,369	279
平成13年度	298	36,363	34,613	70,976	238
平成14年度	298	36,466	38,259	74,725	247
平成15年度	293	36,199	32,296	68,495	234
平成16年度	287	34,607	34,183	68,790	240
平成17年度	293	38,682	34,382	73,064	249
平成18年度	296	58,619	56,197	114,816	388
平成19年度	296	43,061	27,360	70,421	237
平成20年度	294	42,545	29,443	71,988	245
平成21年度	293	44,541	30,906	75,447	257
平成22年度	284	38,422	31,611	70,033	247
平成23年度	287	50,053	37,989	88,042	307
平成24年度	284	45,777	37,260	83,037	292
平成25年度	298	36,322	33,862	70,184	236
平成26年度	296	34,370	38,800	73,170	247
平成27年度	296	35,253	37,330	72,583	245
平成28年度	294	36,417	38,922	75,339	256
平成29年度	288	33,389	40,129	73,518	255
平成30年度	299	40,277	37,685	77,962	261
平成31/ 令和元年度	289	34,933	34,204	69,137	239
令和2年度	256	35,154	23,895	59,049	231
合計	6,235	884,402	770,756	1,596,109	256

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成11）年10月30日

2. 美術館事業 予算・決算概要

予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	18,422	
	報酬	11,067	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,070	再任用職員
	職員手当等	332	再任用職員
	共済費	4,953	会計年度任用職員（旧非常勤）
	学芸業務事業費	49,639	
	報酬	2,966	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	共済費	11	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	1,088	資料収集・評価審査謝礼等 企画展協力謝礼 教育普及謝礼
	旅費	478	企画展等調査旅費
	需用費	1,412	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	1	図書館レシート広告
	委託料	16,452	展示上映事業（企画展4本、常設展展示替） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,032	OA機器賃借料 使用料・賃借料（展示上映用作品）
	備品購入費	2,138	美術作品・資料購入 庁用備品購入 備品図書購入
	負担金補助及び交付金	18,061	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	115,209	
	委託料	115,209	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,428	
	報酬	1,597	会計年度任用職員（旧臨職）
	共済費	6	会計年度任用職員（旧臨職）
	需要費	501	消耗品
	委託料	3,324	映像・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	12,129	
	委託料	12,129	ヒートポンプ設備整備、吹き抜けシート塞ぎ、メディアセンター空調機更新、アプローチ改修
	工事請負費	0	
	岡本太郎作品補修事業費	5,463	
委託料	5,463	《黒い情熱》、《黒い顔》、《招待》、《顔IV》、《眼の樹》、《つら》、《二人》、《霊視》、《想い》、《森の掟》	
計		206,290	
歳 入	使用料	38,790	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	保険料納付金	1,332	再任用職員、会計年度任用職員
	雑入	9,376	図録等売上、イベント収入、各種助成金
計		50,787	

決算概要

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	12,461	
	報酬	6,945	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,069	再任用職員
	職員手当等	331	再任用職員
	共済費	3,116	会計年度任用職員（旧非常勤）
	学芸業務事業費	45,615	
	報酬	2,797	
	共済費	0	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	551	資料収集・評価審査謝礼等 企画展協力謝礼 教育普及謝礼
	旅費	344	企画展等調査旅費
	需用費	1,284	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	0	図書館レシート広告
	委託料	20,813	展示上映事業（企画展4本、常設展展示替） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	6,846	OA機器賃借料 使用料・賃借料（展示上映用作品）
	備品購入費	1,916	美術作品・資料購入 庁用備品購入 備品図書購入
	負担金補助及び交付金	11,064	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	115,209	
	委託料	115,209	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,097	
	報酬	1,491	会計年度任用職員（旧臨職）
	共済費	0	会計年度任用職員（旧臨職）
	需要費	426	消耗品
	委託料	3,180	映像・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	11,843	
	委託料	5,779	ヒートポンプ設備整備、吹き抜けシート塞ぎ、メディアセンター空調機更新、アプローチ改修
	工事請負費	6,064	事務室系統空調機補修、遮熱フィルム工事、男子トイレ補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,435	
	委託料	5,435	《黒い情熱》、《黒い顔》、《招待》、《顔IV》、《眼の樹》、《つら》、《二人》、《霊視》、《想い》、《森の掟》
	計		195,660
歳 入	使用料	25,616	観覧料
	その他使用料	1,060	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	保険料納付金	1,951	再任用職員、会計年度任用職員
	雑入	3,440	図録等売上、イベント収入、各種助成金
計		32,067	

III. 組織名簿 (令和2年度)

1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿 (任期2020年10月1日～2021年9月30日)

部会長	勅使河原純 (美術評論家)
委員	杉浦幸子 (武蔵野美術大学芸術文化学科教授)
委員	藤嶋俊會 (美術評論家 (文化芸術振興会議委員))
委員	光田由里 (元DIC川村記念美術館学芸課長)
委員	室井絵里 (インディペンデントキュレーター)

2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	北條秀衛	職員 (管理)	那須川慧
副館長	古内久	職員 (学芸)	佐藤明由美
課長 (学芸)	大杉浩司	再任用職員 (普及企画)	尾崎美幸
担当係長 (管理)	山崎千加子	会計年度職員 (学芸)	篠原優
担当係長 (学芸)	佐々木秀憲	会計年度職員 (普及企画)	千村曜子
担当係長 (普及企画)	佐藤玲子	会計年度職員 (普及企画)	重田正恵
担当係長 (学芸)	片岡香		

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

1. 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

2. 美術館事業内容

収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

調査研究

- ・岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・美術館の普及活動における調査研究。

展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年4回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年4回の割合で行います。

情報・出版

情報コーナーとガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての情報や映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

普 及

子供から成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

3. 美術館沿革

平成3年4月 川崎市市民ミュージアムにて「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11月 岡本太郎氏の所有する主要作品352点が寄贈される(第一次)

平成5年1月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品1,427点が追加寄贈される(第二次)

4月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアムにて「TARO 万華鏡」展開催

- 平成 6 年 4 月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更
- 平成 7 年 11 月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成 8 年 1 月 岡本太郎逝去（享年 84 歳）
- 6 月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11 月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成 9 年 9 月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成 10 年 5 月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成 11 年 2 月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期 2 年 3 ヶ月）
- 4 月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更
村田慶之輔氏が館長に就任、シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10 月 川崎市岡本太郎美術館開館、開館記念展「多面体・岡本太郎—哄笑するダイナミズム—」開催
- 平成 15 年 4 月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料 1,827 点が寄贈される（第三次）
- 平成 16 年 3 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》設置
- 4 月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展（2003 年）が、第 35 回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10 月 開館 5 周年記念展「テレビ発掘 まる裸の太郎」開催
- 平成 17 年 3 月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成 18 年 2 月 入館者 50 万人達成
- 平成 21 年 4 月 開館 10 周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成 23 年 2 月 岡本太郎生誕 100 年 誕生日記念イベント開催
- 3 月 東京国立近代美術館で「生誕 100 年 岡本太郎」展開催
- 4 月 「生誕 100 年人間・岡本太郎」展開催
- 10 月 岡本太郎生誕 100 年記念イベント ダンス公演「TARO と踊ろう！」開催
- 平成 24 年 3 月 入館者 100 万人達成
- 4 月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成 25 年 3 月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成 26 年 3 月 生田緑地西口園路開通
- 7 月 川崎市制 90 周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」開催
- 10 月 開館 15 周年記念展「TARO 賞の作家Ⅱ」開催
- 11 月 開館 15 周年記念イベント「TARO 祭り」開催
- 平成 27 年 2 月 《母の塔》補修工事完了
- 4 月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6 月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
- 平成 30 年 10 月 川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成 31 年 7 月 入館者 150 万人達成
- 令和元年 7 月 開館 20 周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」開催

4. 施設・設備概要

常設展示室 (1,026 m²)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やバリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅がはじまるのです。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



企画展示室 (828 m²)

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m²の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。



母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・1971年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径2m、7本
- 外装・・・・・・外殻 GRCクラッシュパネル
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRPブロンズ仕上 16体 H=3.0~5.6m
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・照明設備、避雷



V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

1. 条例

(目的及び設置)

第1条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形7丁目1番5号とする。

(事業)

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第5条 市長は、法人その他の団体であつて次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
 - (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
 - (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。
- 2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、第1項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第6条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第8条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第9条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第10条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第11条 市長は、第3条第4号に規定する事業を行うに当たつ

ては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、特に必要があると認めるときは、第9条に規定する観覧料及び第10条第2項に規定する特別利用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第13条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第14条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第15条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成11年6月30日規則第69号で平成11年10月30日から施行)

附 則(平成12年12月21日条例第79号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年9月30日条例第88号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年12月14日条例第77号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月20日条例第18号抄)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年10月9日条例第47号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則(平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委

員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則(平成24年3月19日条例第4号)

この条例は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第4条の次に4条を加える改正規定(第5条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第12条の改正規定(同条を第16条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年3月23日条例第2号抄)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第16条、第17条及び第20条の規定 平成27年5月1日

(2) 第3条の規定 平成27年6月1日

(3) 第19条の規定 平成27年7月1日

(4) 第7条の規定 平成28年4月1日

(5) 第12条、第14条及び第15条の規定 平成28年5月1日

(6) 第2条、第4条、第11条、第13条及び第18条の規定 平成28年6月1日

(7) 第6条の規定 平成28年9月1日

(8) 第5条の規定 平成28年10月1日

(9) 第8条の規定 平成28年11月1日

附 則(平成28年3月24日条例第30号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第9条関係)

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び65歳以上の者	300円	1人につき 240円
一般	500円	1人につき 400円

備考

- 1 団体とは、20人以上をいう。
- 2 学齢に達しない者及び学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。
- 3 高校生・大学生とは、法第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校、法第134条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。
- 4 一般とは、前2項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。
- 5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1人につき2,000円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

- (1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
- (2) 川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年川崎市条例第45号）に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場
- (3) 川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧
- (4) 川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2（第10条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

2. 条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第5条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）
- (4) 条例第5条第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項（事業計画書等の提出）

第3条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第5条第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (3) 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類（指定管理予定者）

第4条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第5条第1項各号に掲げる要件（以下

「指定要件」という。）を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第1項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前2項の指定管理予定者がないときは、再度、第2条の規定による公告を行う。

(通知)

第5条 市長は、条例第5条第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第1号様式）により通知する。

(協定)

第6条 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項（事務の委任）

第7条 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第10条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第12条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第13条の規定による観覧料等の還付に関すること。（観覧券等の交付）

第8条 館長は、条例第9条の規定による観覧料の納付と引

換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第9条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第10条 条例第10条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書(第2号様式)をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書(第3号様式)を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する美術作品等(以下「美術作品等」という。)の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの(以下「模写資料等」という。)を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第11条 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する美術作品等で著作権者等の同意を得ていないもの
- (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(観覧料等の減免)

第12条 条例第12条の規定により館長が観覧料等を減額

し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳(知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。)、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等(以下「身体障害者手帳等」という。)の交付を受けている者(これらの者の介護者を含む。)が観覧を行う場合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書(第4号様式)を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書(第5号様式)を、あらかじめ館長に提出しなければならない

い。ただし、前項第1号ウの場合にあつては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあつては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料等の還付)

第13条 条例第13条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額
- (3) 前2号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

第14条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けないで、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(委任)

第15条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局

長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成11年川崎市教育委員会規則第7号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則（平成25年3月29日規則第26号抄）

(施行期日)

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則（平成27年5月27日規則第49号）

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

規 則（平成28年3月31日規則第25号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式

第2号様式

第3号様式

第4号様式

第5号様式

令和2年度 川崎市岡本太郎美術館年報

2021年9月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区栢形 7-1-5

TEL 044-900-9898

印刷／情報印刷株式会社

TARO OKAMOTO
MUSEUM OF ART
KAWASAKI